

# 日本スポーツマスターズ2018

SPORTS MASTERS JAPAN 2018

## 大会実施要項



SPORTS MASTERS JAPAN

### 主 催

公益財団法人 日本スポーツ協会

札 幌 市

一般財団法人 札幌市体育協会

北 海 道

公益財団法人 北海道体育協会

特別協賛:   



この大会は競輪の補助を受けて開催しています。  
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

## 日本スポーツマスターズ シンボルマーク



全体のイメージとしては、「日本の空と大地と水」「スポーツと人、栄光と躍動」「完成された肉体と精神」を表し、具体的には、スポーツの持つ、力強さ、美しさ、特に男性の力強さと女性のしなやかさ、美しさを表現。また、シニア世代を対象とした大会のため、完成された質の高さや落ち着きを、深みのあるカラーでコーディネートしています。

平成12（2000）年の第2回理事会で決定しました。  
大石章郎氏（㈱メリーキャブ：アートディレクター）デザイン。

## 日本スポーツ協会マーク



「のぼる太陽」のイメージを基調に、若いスポーツマンたちの力が、より高く、たくましく伸びていくことをシンボライズ。

昭和49（1974）年の第2回評議員会で正式に決定しました。

永井一正氏（日本デザインセンター理事）デザイン。

# 目 次

1	大会日程と会場一覧	2
	会場地一覧	3
2	総 則	4
3	各競技実施要項	
	〈1〉水 泳 競 技	7
	〈2〉サ ッ カ ー 競 技	11
	〈3〉テ ニ ス 競 技	16
	〈4〉バ レ ー ボ ー ル 競 技	19
	〈5〉バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 競 技	22
	〈6〉自 転 車 競 技	26
	〈7〉ソ フ ト テ ニ ス 競 技	29
	〈8〉軟 式 野 球 競 技	32
	〈9〉ソ フ ト ボ ー ル 競 技	35
	〈10〉バ ド ミ ン ト ン 競 技	38
	〈11〉空 手 道 競 技	42
	〈12〉ボ ウ リ ン グ 競 技	46
	〈13〉ゴ ル フ 競 技	49
4	医療救護について	53
5	開会式（前夜祭）について	54
6	韓国選手団の参加について	55
7	都道府県体育・スポーツ協会名簿	56
8	宿泊・交通・弁当申込先	
	[東武トップツアーズ(株)担当支店一覧]	57

# 1 大会日程と会場一覧

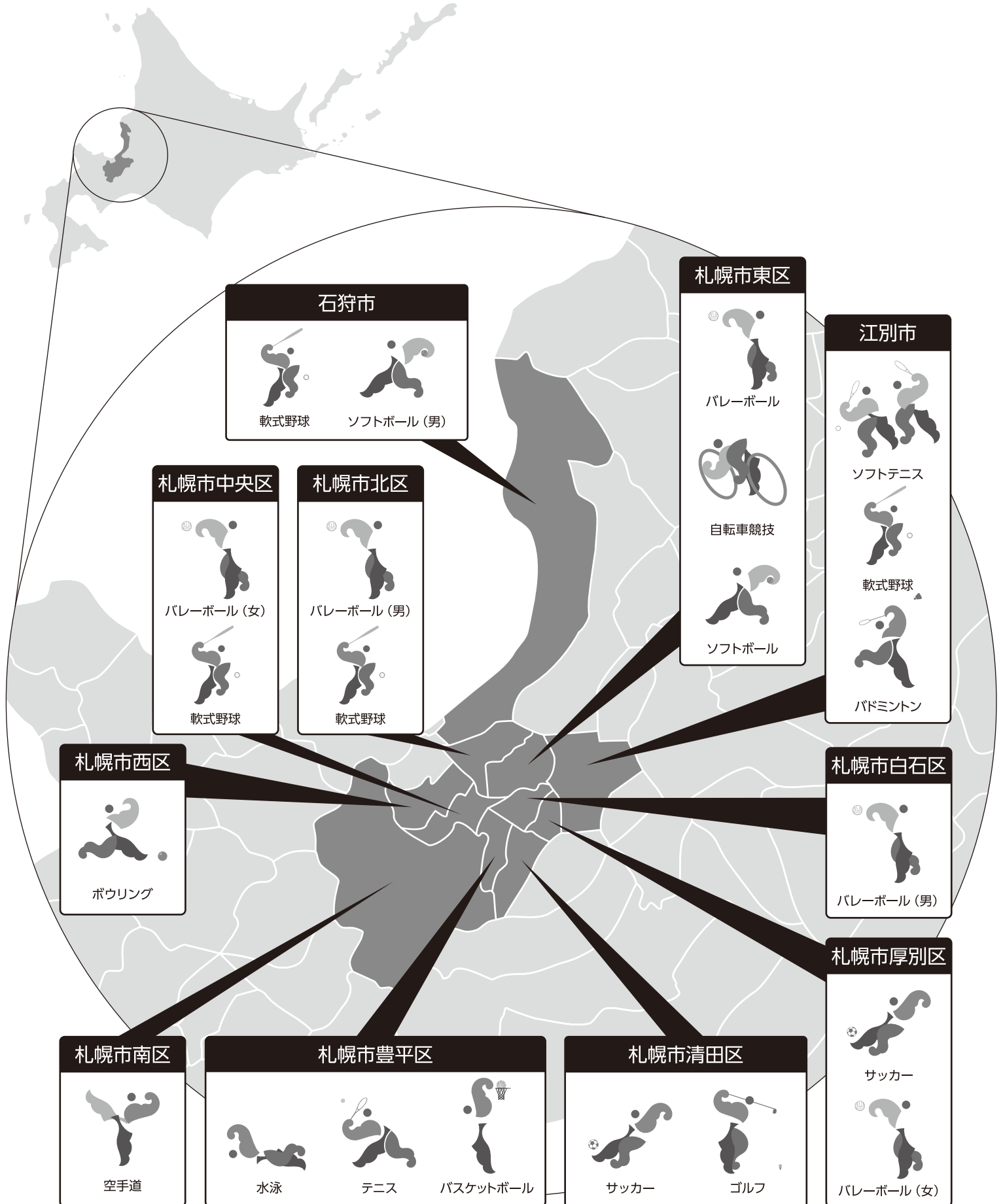
2018年4月20日現在

競技名	競技日程									会場	開催地
	9月										
	1	2	12	13	14	15	16	17	18		
	(土)	(日)	水	木	金	(土)	(日)	(月)	火		
開会式(前夜祭)					△					札幌パークホテル	札幌市中央区
水泳	(男女)	●	◎							平岸プール	札幌市豊平区
サッカー	(男)					○	○	○	◎	厚別公園競技場	札幌市厚別区
						○	○	○		白旗山競技場	札幌市清田区
テニス	(男女)					●	○	○	◎	平岸庭球場	札幌市豊平区
バレーボール	(男女)					●	○	○	◎	美香保体育館	札幌市東区
	(男)					○	○			北区体育館	札幌市北区
						○	○			白石区体育館	札幌市白石区
						○				東区体育館	札幌市東区
	(女)					○	○	○		中央体育館	札幌市中央区
						○				厚別区体育館	札幌市厚別区
バスケットボール	(男女)					○	○	○	◎	道立総合体育センター	札幌市豊平区
自転車競技(ロード)	(男女)					▲	◇			モエレ沼公園	札幌市東区
ソフトテニス	(男女)					●	◎			道立野幌総合運動公園 テニスコート	江別市
軟式野球	(男)					○	○	◎		円山球場	札幌市中央区
						○	○	○		麻生球場	札幌市北区
						○	○			道立野幌総合運動公園 硬式野球場	江別市
						○	○			青葉公園野球場	石狩市
						○				飛鳥山公園野球場	江別市
						○				道立野幌総合運動公園 軟式野球場	
ソフトボール	(男)					○	○	○		石狩市スポーツ広場	石狩市
	(女)					○	○	◎		美香保公園野球場	札幌市東区
						○	○			モエレ沼公園野球場	札幌市東区
バドミントン	(男女)					●	○	◎	江別市民体育館	江別市	
空手道	(男女)					●	○	◎	真駒内セキスイハイムアイスアリーナ	札幌市南区	
ボウリング	(男女)					●	○	◎	総合レジャーサンコーボウル	札幌市西区	
ゴルフ	(男)			▲	○	◎				ツキサップゴルフクラブ	札幌市清田区
	(女)			▲	○	◎				札幌芙蓉カントリー倶楽部	

札幌市 21 会場、江別市 5 会場、石狩市 2 会場 計 28 会場

- △ 開会式(前夜祭)
- 開始式後競技
- 競技
- ▲ 公式練習
- ◇ 開始式後競技、競技終了後表彰式
- ◎ 競技終了後表彰式

# 会場地一覧



## 2 総 則

### 1. 趣旨

21 世紀の国民スポーツの推進を図るにあたっては、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通して、スポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を目指していくことが重要である。

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

### 2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会

※各競技会については実施中央競技団体及び会場地市が主催として加わる。

### 3. 主管

開催地実施競技団体

### 4. 実施競技

水泳 サッカー テニス バレーボール バasketボール 自転車競技 ソフトテニス 軟式野球  
ソフトボール バドミントン 空手道 ボウリング ゴルフ (13 競技)

### 5. 期日

平成 30 年 9 月 14 日(金)～18 日(火) 5 日間

※水泳競技は 9 月 1 日(土)～2 日(日)、ゴルフ競技は 9 月 12 日(水)～14 日(金)

### 6. 会場地

札幌市 江別市 石狩市(3 市 28 会場)

### 7. 参加者

(1)大会の参加者は、監督及び選手、並びに大会役員、競技会役員、競技役員、運営係員とする。

(2)参加者は、日本在住者とし、参加資格、所属都道府県及び年齢制限は次のとおりとする。

#### ①参加資格

ア 各競技の監督及び選手は、所属都道府県の当該競技団体会長が、代表と認め選抜した者であること。

イ 監督、選手の兼任は、同一競技内に限る。

ウ 前記の他、選手については次の通りとする。

I. 参加選手は 1 人 1 競技とする。

II. 予選を行う必要のある競技は、都道府県予選、ブロック予選に参加し、これを通過した者。

エ 第 73 回国民体育大会(実施中央競技団体が定める場合を除き都道府県予選会・ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2018に選手として参加することはできない。

オ 監督は、原則として日本スポーツ協会が別に定める「公認スポーツ指導者制度」に基づく、当該競技団体が定める公認資格を有する者とする。

#### ②所属都道府県

所属都道府県は、実施中央競技団体が限定する場合を除き、次の 2 ヶ所のいずれかを選択することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

なお、いずれの場合も本人が参加申込書又は手続きに必要な情報を当該都道府県競技団体へ提出した時点を基準とし、提出後に他の都道府県に転居等で移動した場合であっても当該年においては移動前の都道府県に所属するものとする。

#### ③選手の年齢制限

ア 原則として、35 歳以上とし、競技ごとに別に定める。

イ 年齢の計算は、原則として平成 30 年 4 月 1 日を基準とする。年齢を区分する種目への参加選手の基準も同様とする。

#### ④参加上の注意

ア 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

イ 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。

ウ 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

エ 参加者は、健康保険証を持参すること。

オ 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。

カ 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

#### ⑤その他

ア 日韓スポーツ交流の韓国選手団が参加する。

イ 参加資格等に疑義が生じたときは、日本スポーツ協会及び当該中央競技団体が調査の上、処分の必要性が認められる場合は別途定める「参加資格違反に関する処分基準」に基づき日本スポーツ協会において審議・処遇を決定する。

### 8. 参加申込方法

(1)各都道府県又はブロックにおいて選抜された者を、都道府県競技団体会長が中央競技団体を通じて、日本スポーツ協会会長宛てに申込みものとする。なお、都道府県競技団体会長は、所属する都道府県体育・スポーツ協会にも申込書の控えを提出するものとする。

- (2) 参加申込書は、所定の様式により作成し、定められた期限までに、日本スポーツ協会に送付する。
- (3) 参加申込後に、選手を交代する場合は、速やかに所定の様式にて、参加申込と同様の要領で届けなければならない。
- (4) エントリーリスト・組合せは競技ごとの抽選会后、8月中旬頃から日本スポーツ協会もしくは実施中央競技団体のホームページにて掲載する。

## 9. 参加料

- (1) 参加料は、各都道府県競技団体が取りまとめの上、実施中央競技団体を通じて日本スポーツ協会に納入する。
- (2) 参加料の額は、選手1人5,000円とする。  
なお、商業施設使用競技については、別途、施設負担金を徴収する(額は競技ごとに日本スポーツ協会が別に定める)。
- (3) 納入後の参加料は返金しない。
- (4) 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 10. 表彰

- (1) 各競技の各種別、種目などの第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。
- (2) 原則として、各競技の各種別、種目などの第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。
- (3) 前号については、各競技の各種別、種目などの特性に応じて、実施中央競技団体が日本スポーツ協会と調整の上、別に基準を定めることができるものとする。

## 11. 宿泊及び交通

- (1) 参加者(監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員)の宿泊、交通の手配は、原則として日本スポーツ協会が指定する旅行会社に依頼することとする。
- (2) 詳細については、別に定める「宿泊・輸送・弁当に関する基本要領」に基づき行う。

## 12. 大会参加章の交付

日本スポーツ協会は、参加者の大会参加意識の啓発及び国民のスポーツ活動を一層推進するため、大会参加章を作成し、参加者(監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員)及び日本スポーツ協会が特に認めた者に交付する。

## 13. その他

- (1) 参加申込書及び参加料が定められた期限までに指定された場所に到着しない場合は、理由のいかんを問わず、本大会への参加を認めない。
- (2) 日韓スポーツ交流で参加する韓国選手団の参加資格、申込方法等については、別途定める。
- (3) その他の事項については、日本スポーツマスターズ開催基準要項による。



# <1> 水 泳 競 技

## SWIMMING

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本水泳連盟
2. 主 管 一般財団法人北海道水泳連盟 札幌水泳協会
3. 公 認 公益財団法人日本水泳連盟 一般社団法人日本マスターズ水泳協会
4. 期 日 平成30年9月1日(土)から9月2日(日)まで(2日間)
5. 会 場 平岸プール 〒062-0935 北海道札幌市豊平区平岸5条14-1-1

### 6. 競技方法

- (1) 全て、男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とする。  
(2) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

### 7. 種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

#### (1) 競技種目

自由形：50m・100m 背泳ぎ：50m・100m 平泳ぎ：50m・100m バタフライ：50m・100m  
個人メドレー：200m フリーリレー：200m メドレーリレー：200m 混合フリーリレー：200m  
混合メドレーリレー：200m

※男子、女子及び年齢別共に同一種目とする。

#### (2) 年齢区分(男女共通)

① 個人種目(個人の暦年齢)	② リレー種目(泳者4名の暦年齢の合計)
1部(30歳～34歳)	120歳の部(120歳～159歳)
2部(35歳～39歳)	160歳の部(160歳～199歳)
3部(40歳～44歳)	200歳の部(200歳～239歳)
4部(45歳～49歳)	240歳の部(240歳～279歳)
5部(50歳～54歳)	280歳の部(280歳～296歳)
6部(55歳～59歳)	※リレーも74歳までとする
7部(60歳～64歳)	
8部(65歳～69歳)	
9部(70歳～74歳)	

#### (3) 競技順序(女・男9・8・7・6・5・4・3・2・1部の順)

##### 第1日目(タイム決勝)

- 1 混 合 200mフリーリレー4×50m
- 2 女・男 200m個人メドレー
- 3 女・男 100m自由形
- 4 女・男 100m平泳ぎ
- 5 女・男 100mバタフライ
- 6 女・男 100m背泳ぎ
- 7 女・男 200mフリーリレー4×50m

##### 第2日目(タイム決勝)

- 1 混 合 200mメドレーリレー4×50m
- 2 女・男 50m背泳ぎ
- 3 女・男 50mバタフライ
- 4 女・男 50m平泳ぎ
- 5 女・男 50m自由形
- 6 女・男 200mメドレーリレー4×50m

- (4) 参加人員  
各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。
- (5) リレー種目
- ① リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は74歳までとする。
  - ② リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。
  - ③ リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

## 8. 申込規定

- (1) 参加資格、年齢基準及び所属都道府県  
選手は、(公財)日本水泳連盟(平成30年度)又は(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(平成30年)で、下記に該当すること。
- ① 年齢基準は、平成30年12月31日現在とする。
  - ② 所属する都道府県に在住又は在勤の者。
  - ③ 第73回国民体育大会水泳競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。
- ※ 監督については、公認水泳コーチ・公認水泳上級コーチ、公認水泳教師・公認水泳上級教師、公認水泳指導員・公認水泳上級指導員の資格を有する者とする。(指導者資格は、(公財)日本スポーツ協会公認資格とする)
- (2) 参加料 1人5,000円(監督専任者を除く)  
一度納入された参加料は返金しない。また、地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- (3) 申込方法
- ① 参加希望者は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申込む。
  - ② 都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本スポーツ協会の「参加登録DB」と(公財)日本水泳連盟Webエントリーから出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申込(エントリーTIME)データ一覧表」を3部作成し、平成30年7月13日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。
- ※(公財)日本水泳連盟の大会ホームページからエントリー手順指示書(加盟団体用)を入手すること。
- ※本年度から申込用紙3部の他に、「競技会申込(エントリーTIME)データ一覧表」の電子データをメールにて「(公財)日本水泳連盟・日本スポーツマスターズ2018札幌大会係」へ送る。
- ③ (公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、平成30年7月20日(金)までに、(公財)日本スポーツ協会へ送付する。
  - ④ 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記①、②の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。
- (4) その他
- ① 大会出場にあたり、所属名並記を希望する競技者は、所定の様式「競技者所属名称団体並記申請書」を提出すること。なお、所属名並記は(公財)日本水泳連盟登録団体・選手登録者に限る(様式はHP掲載)。

- ② (一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、大会申込時に平成30年の(一社)日本マスターズ水泳協会の個人登録完了者に限る。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。

## 9. 水着等の制限

- (1) 競泳水着はF I N Aの公認した水着を着用すること。水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや2次加工は禁止する。
- (2) 選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限(水着・バッグ・シャツ等のマーク)している。
- ※ 水着規程の詳細は、(公財)日本水泳連盟のホームページ「競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」の内容をよく読むこと。

## 10. 参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先(本人以外)を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

## 11. 表彰・得点

- (1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者に記念品を授与する。また第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは、上位2名までとする。
- (2) 合計得点により男女総合成績上位の第1位から第8位までの都道府県を表彰する。
- ① 個人種目、リレー種目ともに1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。
- ② 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。
- ③ 合計得点が同得点の場合は、次のとおりとする。
- ・リレー得点の多い方
  - ・入賞者数の多い方(リレー種目は4と計算する)
  - ・1位の数の多い方
  - ・以下8位までこれにならう
- (3) 本大会へ10年連続出場者に記念品及び賞状を授与する。
- ① 対象者は、(公財)日本水泳連盟「日本スポーツマスターズ10年連続出場者表彰申請書(平成30年度)」様式に記入する。
- ② 本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、平成30年7月13日(金)までに(公財)日本水泳連盟生涯スポーツ委員会「日本スポーツマスターズ2018札幌・水泳競技会(10年連続出場)」係に届けること。なお、当日レースを棄権した場合は連続出場表彰を取り消しとする。

## 12. 会 議

(1) 資格審査・プログラム編成

日 時／平成 30 年 8 月 1 日(水) 午後 1 時～

会 場／公益財団法人日本スポーツ協会 101 会議室

〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 1 階 TEL 03-3481-2215

(2) 監督会議

日 時／平成 30 年 8 月 31 日(金) 午後 3 時～

会 場／平岸プール内 会議室

〒062-0935 札幌市豊平区平岸 5 条 14-1-1 TEL:011-832-7529

## 13. 大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。

## <2> サ ッ カ ー 競 技

### SOCCER

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本サッカー協会

2. 主 管 公益財団法人北海道サッカー協会 一般社団法人札幌地区サッカー協会

3. 期 日 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 18 日(火)まで(4 日間)

種 別	9 月 15 日(土)	9 月 16 日(日)	9 月 17 日(月・祝)	9 月 18 日(火)
男 子	1 次ラウンド	1 次ラウンド	1 次ラウンド	準決勝・決勝

4. 会 場 厚別公園競技場 〒004-0033 北海道札幌市厚別区上野幌 3 条 1-2-1  
白旗山競技場 〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄 502 番地 1

#### 5. 参加人員

種別	監督	選手	都道府県	韓国選手	韓国チーム	合計
男子	1 名	20 名	15 チーム	19 名	1 チーム	334 名

#### 6. 大会形式

##### (1)1次ラウンド

出場 16 チームを 4 チームずつ 4 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ 1 位の 4 チームが決勝ラウンドに進出する。

1 次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。

勝点は、試合時間内の勝者:3 点、PK 方式による勝者:2 点、PK 方式による敗者:1 点、試合時間内の敗者:0 点 とする。但し複数チームが同勝点合計の場合、以下項目の順序で順位を決定する。

- ①関係するチーム間の総獲得勝ち点数
- ②関係するチーム間の試合における総得失点差(PK 戦の得点は考慮しない)
- ③関係するチーム間の試合における総得点数
- ④抽選

##### (2)決勝ラウンド

4 チームによるノックアウト方式にて、優勝以下 3 位までを決定する。3 位決定戦は実施しない。

#### 7. 競技規則

(1)サッカー競技規則:大会実施年度の日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

##### (2)競技会規程

###### ①競技のフィールド

本大会は天然芝および人工芝フィールドにて行う。なお、人工芝フィールドについては原則「FIFA サッカー芝品質コンセプト認証フィールド」または「JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ」とする。原則として、一つのチームが連続して人工芝使用となることをさけるものとする。

②ボール:試合球は日本スポーツ協会指定の 5 号検定球とし、マルチボールシステムを採用する。

### ③競技者の数

- a. 競技者の数 : 11 名
- b. 交代要員の数 : 9 名以内
- c. 交代を行うことができる数:再交代を適用する。  
(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする。)

### ④役員の数

テクニカルエリアに入ることができる役員の数 : 6 名以内

### ⑤テクニカルエリア:設置する。

その都度ただ 1 人の役員のみがテクニカルエリアから戦術的指示を伝えることができる。  
監督およびその他テクニカルエリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。

### ⑥競技者の用具(ユニフォーム)

- a. 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、2016 年 4 月 1 日施行の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は 2019 年 3 月 31 日まで旧規程による運用を許容する。  
第 5 条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋
  - ・GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
  - ・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)
  - ・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離
- b. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB 登録)に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。日本サッカー協会に登録されたものを原則とする。
- c. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- d. ユニフォームの色・選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- e. ユニフォームへの広告表示については日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- f. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- g. 選手番号については、整数の1から 99 を使用し、0 は認めない。日本サッカー協会への登録選手数が 100 名以上の場合に限り、100 以上の番号を認める。

### ⑦試合時間

- a. プレーの時間 : 1次ラウンド : 60 分(前・後半 30 分)  
決勝ラウンド : 50 分(前・後半 25 分)
- b. ハーフタイムのインターバル : 10 分(前半終了から後半開始まで)
- c. 延長戦に入る前のインターバル : 3 分
- d. PK 方式に入る前のインターバル : 1 分
- e. アディショナルタイムの表示 : 実施する。

### ⑧試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

- a. 1 次ラウンド : PK 方式により勝敗を決定する(延長は行わない)。
- b. 決勝ラウンド  
準決勝 : PK 方式により勝敗を決定する(延長は行わない)。  
決勝 : 10 分(前・後半 5 分)の延長を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。

### ⑨その他

- a. 第4の審判員 : 任命する。
- b. 負傷した競技者の対応:主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。



## 8. 参加チームとその数

参加チーム数は次のとおり 16 チームとし、原則として平成 30 年 7 月 10 日(火)までに各地域において参加チームを決定する。

- (1) 9 地域協会より各 1 チーム:9 チーム
- (2) 前年度の登録数(チーム・選手)の比率配分による 1 チーム:1 チーム(関東地域協会)
- (3) 開催地:1 チーム(北海道)
- (4) 日韓スポーツ交流:1 チーム(韓国)
- (5) 普及枠:4 チーム(東北・関東・関西・九州地域協会)

※開催地域協会を除く 4 地域協会から各 1 チームとし、北海道から巡回する。開催地の地域に本来普及枠が廻ってくる順番の際は、翌年普及枠を得る。

### <2018 大会参加チーム数>

北海道:1、 東北:2、 関東:3、 北信越:1、 東海:1、 関西:2、  
中国:1、 四国:1、 九州:2、 開催地(北海道):1、 韓国:1

## 9. 参加資格、年齢基準及び所属都道府県(韓国チーム:年齢を除きこの限りではない)

日本在住者で、1983 年(昭和 58 年)4 月 1 日以前生まれの当該年度日本サッカー協会登録選手によって構成されたチームであり、選手は下記の資格を満たす者。

- (1) 所属都道府県は、下記のいずれかを選択することができる。
  - ① 居住地を示す現住所が位置する都道府県
  - ② 勤務地が位置する都道府県
  - ③ 日本サッカー協会に登録したチームの所属都道府県
- (2) 第 73 回国民体育大会サッカー競技会(都道府県大会、ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本競技会に選手として参加することはできない。
- (3) 都道府県予選に参加した選手は、他の都道府県から参加することはできない。
- (4) 監督は、日本サッカー協会公認コーチ(C、B、A、S 級)の資格を有する者。
- (5) 参加上の注意:
  - ① 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
  - ② 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
  - ③ 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
  - ④ 参加者は、健康保険証を持参すること。
  - ⑤ 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
  - ⑥ 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

## 10. 表彰

- (1) 優勝・準優勝・3 位(2 チーム)のチームに、賞状を授与する。
- (2) 優勝・準優勝・3 位(2 チーム)の選手・監督に、記念品を授与する。

## 11. 参加料(韓国チームを除く)

- (1) 1 チーム:100,000 円とする。

※納入後の参加料は返金しない。

※大会参加にかかる経費は全て参加チームの負担とする。

※地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

- (2) 参加チームは、指定期日までに下記指定口座に送金すること。  
振込口座：三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通預金 No.3456779 ザイニホンサッカーキョウカイ  
振込期限：平成30年7月11日(水)まで
- (3) 日本サッカー協会は、参加チームより納入された参加料を取りまとめ、平成30年7月20日(金)までに日本スポーツ協会に納入する。

## 12. 参加申込方法 (韓国チームを除く)

### (1) 参加申込(JFA WEB 登録システム)

- ①参加チームは、JFA WEB 登録システム「KICK OFF」にて必要事項を入力の上、参加申込手続きを行うこととする。尚、WEB 登録システムの利用方法については別添資料を参照すること。  
■参加申込期限：平成30年7月11日(水) 15:00 必着
- ②都道府県サッカー協会は、参加資格、参加人員等を大会規程と照合し、平成30年7月13日(金) 15:00 までに承認すること。
- ③日本サッカー協会は、参加チームのWEB 登録システムにおける「大会参加申込書」を、平成30年7月20日(金)までに、参加チームが所属する都道府県の体育・スポーツ協会へ提出する。

### (2) 「参加登録DB」「参加申込者競技歴調査用紙」

- ①参加チームは、所定の「参加登録DB」「参加申込者競技歴調査用紙」(データ形式)に必要事項を入力の上、所属都道府県サッカー協会宛に下記提出期限までにEメールにてデータ送信して申込む。  
■提出期限：平成30年7月11日(水) 15:00 必着  
■提出先：所属都道府県サッカー協会宛 (受付Eメールアドレスは事前に個別確認すること。)
- ②都道府県サッカー協会は、参加チームより提出された「参加登録DB」「参加申込者競技歴調査用紙」(データ形式)の参加資格、参加人員等を大会規程と照合し、下記提出期限までに日本サッカー協会へ送付すること。  
■提出期限：平成30年7月13日(金) 15:00 必着  
■提出先：  
◇日本サッカー協会宛 (受付Eメールアドレス sportsmasters2018@jfa.or.jp )  
※GmailJFAグループウェアのEメールにてデータ送信すること。JFAグループウェア以外のEメールでは受け付けない。

### (3)参加者変更届(参加申込後に選手を変更する場合)

- ①参加チームは、所定の「参加者変更届」(データ形式)に必要事項を入力の上、所属都道府県サッカー協会宛に下記提出期限までにEメールにてデータ送信して申込む。  
■提出期限：平成30年9月11日(火) 15:00 必着  
■提出先：所属都道府県サッカー協会宛 (受付Eメールアドレスは事前に個別確認すること。)
- ②都道府県サッカー協会は、参加チームより提出された「参加者変更届」(データ形式)の記載内容を大会規程と照合し、下記提出期限までに日本サッカー協会へ提出すること。  
■提出期限：平成30年9月12日(水) 15:00 必着  
■提出先：  
◇日本サッカー協会宛 (受付Eメールアドレス sportsmasters2018@jfa.or.jp )  
※GmailJFAグループウェアのEメールにてデータ送信すること。JFAグループウェア以外のEメールでは受け付けない。尚Eメールのため、所属都道府県サッカー協会長印の押印の必要はない。  
※「各競技必要事項」の項目に、変更後の選手の選手番号・ポジションを記入すること。



### 13. 宿泊・交通申込について

日本サッカー協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を参加チームに配布する。参加チームは、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

### 14. その他

#### (1) 組合せ抽選

日 時／平成 30 年 7 月 27 日(金)

公益財団法人日本サッカー協会にて抽選を行い決定する。

#### (2) 代表者会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 14:00～15:30(予定)

会 場／厚別公園競技場 会議室

〒004-0033 北海道札幌市厚別区上野幌 3 条 1 丁目 2-1

TEL:011-894-1144 FAX:011-894-4299

#### (3) 懲罰

①本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

②本大会は、日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

③大会規律委員会の委員長は 1 種大会部会長とし、委員については委員長が決定する。

④本大会期間中に警告を 2 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。

⑤本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

⑥本実施要項の記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

#### (4) 選手証

韓国チームを除く各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

(5) 本実施要項に規定されていない事項については、大会実施委員会において協議の上決定する。

以上

# <3> テ ニ ス 競 技

## TENNIS

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本テニス協会

2. 主 管 北海道テニス協会 札幌テニス協会

3. 期 日 平成30年9月15日(土)から18日(火)まで(4日間)

種 別	9月15日(土)	9月16日(日)	9月17日(月・祝)	9月18日(火)
男子シングルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
男子ダブルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
女子シングルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
女子ダブルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝

4. 会 場 平岸庭球場 〒062-0935 北海道札幌市豊平区平岸5条19丁目

### 5. 参加人員

種 別	監 督	シングルス	ダブルス	合 計
男 子	各都道府県1名	48名	48組(96名)	191名
女 子	各都道府県1名	48名	48組(96名)	191名

\*各都道府県テニス協会より、全種目各1名・1組とし、開催県は各2名・2組とする。

\*上記に加え、日韓スポーツ交流により派遣される韓国選手が加わる。韓国選手の参加人数は男女ともダブルス4ペア(各8名 合計16名)とする。

\*種目により、組合せ抽選日に不参加県があり、欠員があるときは、あらかじめ順位をつけて複数参加(補欠)を申し出ている都道府県テニス協会を対象に、ベテラン JOP ランキング順で割り当てる。

\*組合せ決定後、欠場選手が出た場合は、欠場選手所属の都道府県において選手を補充する。

\*監督は選手兼任でも可とする。

### 6. 試合方法

(1) 使用球

①使用球は、ヨネックスTMP80とする。

②3セットマッチのボールチェンジは各セットごとに行い、1セット2個とする。

(但し、ファイナルセットはボールチェンジをしない。)

(2) 試合方法

①予選リーグ後、決勝トーナメントとする。

②予選リーグ：1セットマッチ

決勝トーナメント：1回戦・準々決勝は8ゲームプロセット

準決勝・決勝の第1・第2セットはタイブレークセットとし、第

3セットはスーパータイブレーク(10ポイント)の3セットマッチとする。

\*すべての試合をノーアド方式とする。

③セルフジャッジ（ロービングアンパイア設置）とする。ただし、決勝戦はソロチェアアンパイア方式とする。

④本大会参加選手全員に、ベテランJOP配点表の別表、「日本スポーツマスターズ・テニス競技」のポイントが与えられ（下記配点の通り）、本人が希望する年齢のポイントに加算する。

《日本スポーツマスターズ配点表》（ベテランJOP配点表の別表）

優勝	100	B8	34
準優勝	70	B16	24
B4	49	予選敗退	16

⑤天候その他の事情により、会場・試合日程・試合方法が変更されることがある。

⑥日本テニス協会制定のポイントペナルティー制度を採用する。

⑦本大会は、「JTAテニスルールブック 2018」の規定に基づいて行うこととする。

## 7. 実施種目及び年齢基準

〔男子シングルス〕 35歳以上（昭和58年12月31日以前に出生した者）

〔男子ダブルス〕 45歳以上（昭和48年12月31日以前に出生した者）

〔女子シングルス〕 40歳以上（昭和53年12月31日以前に出生した者）

〔女子ダブルス〕 40歳以上（昭和53年12月31日以前に出生した者）

## 8. 参加資格

- (1) 各都道府県テニス協会の加盟団体または個人登録者にして、参加申込締切日までに、平成30年度日本テニス協会選手登録者および競技者規程によるプロフェッショナル登録者とする。
- (2) 上記により、各都道府県テニス協会より選出された者。なお、その選出方法については、各都道府県テニス協会の任意とする。
- (3) 日韓スポーツ交流により派遣された韓国選手。
- (4) シングルス・ダブルスの両種目に出場することはできない。
- (5) 第73回国民体育大会テニス競技会（都道府県予選会及びブロック大会を除く）に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。
- (6) 各都道府県の監督をする者は、日本スポーツ協会公認テニス指導員・上級指導員・教師・上級教師・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有することが望ましい。

## 9. 表彰

- (1) 各種目の第1位から第5位（ベスト8）までの者（組）に、それぞれ賞状を授与する。
- (2) 各種目の第1位から第3位（ベスト4）までの者（組）に、それぞれ記念品を授与する。
- (3) 各都道府県テニス協会に対し、参加した男女各1名、1組が取得した、別に定めるトーナメント勝敗ポイントの集計により、それぞれ下記団体賞を別途授与する。
  - ① 各種目において複数参加の都道府県は、参加選手がそれぞれ取得したポイント中、高得点の集計点とする。
  - ② 第1位から第3位に賞状および記念品を授与する。
  - ③ トーナメント勝敗ポイントは、ベスト16…15点、ベスト8…20点、ベスト4…35点、準優勝…40点、優勝…50点とする。なお、リーグ戦敗者は5点とする。

## 10. 参加料

1人7,000円（監督専任者を除く）

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 11. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県テニス協会へ申込む。但し、新規選手登録者は振込票兼受領証の写しを同封すること。
- (2) 都道府県テニス協会は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出し、所定の参加申込書を3部作成し、平成30年7月11日(水)必着にて、1部を都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本テニス協会に提出する。なお、参加料は都道府県テニス協会が取りまとめて、参加申込と同時に日本テニス協会に納入する。
- (3) 参加申込後に選手等変更することは原則として認めないが、変更希望がある場合は、当該都道府県テニス協会より日本テニス協会へ速やかに申し出ること。

## 12. 参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

## 13. 大会競技役員

大会ディレクター	山下 宏
アシスタントディレクター	清水 行海 蒲生 清 中西伊知郎
大会レフェリー	八木 真理
アシスタントレフェリー	奥村伊万秀 土佐 ケイ 太田 幸江

## 14. 宿泊・交通申込について

日本テニス協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県テニス協会へ送付し、都道府県テニス協会は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社各支店に提出する。

## 15. その他

- (1) 組合せ抽選会  
日 時／平成30年7月25日(水) 12:00～16:00  
会 場／公益財団法人日本スポーツ協会 101 会議室  
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館1階 TEL:03-3481-2215
- (2) 練習コート  
平岸庭球場で、9月14日(金)午前10時から練習が出来ます。  
練習コートの割付は、上記組合せ結果と合わせて、事前にお知らせします。
- (3) 本部宿舎  
未定 ドロー発表時にお知らせいたします。

## <4> バレーボール競技

### VOLLEYBALL

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本バレーボール協会

2. 主 管 北海道バレーボール協会 札幌バレーボール協会

3. 期 日 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 18 日(火)まで(4 日間)

9 月 15 日(土)	9 月 16 日(日)	9 月 17 日(月・祝)	9 月 18 日(火)
予選グループ戦 決勝トーナメント戦 抽選会	決勝トーナメント戦 1・2 回戦	決勝トーナメント戦 3 回戦・準々決勝	決勝トーナメント戦 準決勝・決勝 表彰式・閉会式

#### 4. 会 場

男 子：美香保体育館 〒065-0022 北海道札幌市東区北 22 条東 5 丁目 1-1  
北区体育館 〒001-0908 北海道札幌市北区新琴似 8 条 2 丁目 1-25  
東区体育館 〒065-0027 北海道札幌市東区北 27 条東 14 丁目 3-1  
白石区体育館 〒003-0023 北海道札幌市白石区南郷通 6 丁目北 1-1  
女 子：美香保体育館 〒065-0022 北海道札幌市東区北 22 条東 5 丁目 1-1  
中央体育館 〒060-0041 北海道札幌市中央区大通東 5 丁目  
東区体育館 〒065-0027 北海道札幌市東区北 27 条東 14 丁目 3-1  
厚別区体育館 〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央 2 条 5 丁目 1-20

#### 5. 参加人員

区分	役 員			選 手	参 加 都道府県	小 計	合 計
	監督	コーチ	マネージャー				
男子	1 名	1 名	1 名	18 名	48 チーム	1,008 名	2,100 名
女子	1 名	1 名	1 名	18 名	52 チーム	1,092 名	

\*各都道府県 1 チーム及び開催県追加 1 チーム。

\*日韓スポーツ交流による韓国女子 1 チーム及び女子補填 3 チーム。

\*男女共、不参加都道府県があった場合は、日本バレーボール協会国内競技委員会が補填する。

#### 6. 競技規則及び方法

##### (1) 競技規則

2018 年度公益財団法人日本バレーボール協会 9 人制競技規則による。ただし、一部特別ルールを実施する。(1 試合のベンチ入り選手 18 名以内、試合への出場 15 名以内、選手交代 1 セット 6 回、6 人を限度)

##### (2) 競技方法

①予選グループ戦(敗者復活トーナメント形式)の後、決勝トーナメント(完全トーナメント形式)を行う。

- ②予選グループ戦において、1勝したチームは決勝トーナメントに出場できる。
- ③全試合とも3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。

**\*予選グループ戦**

男子 48 チーム女子 52 チームを原則とし、その場合 1 グループ 4 チームの 12(13)グループに分けて予選(各 3 試合、男子 36 試合、女子 39 試合、計 75 試合)を行い、各グループ 3 チーム(男子 36 チーム、女子 39 チーム)が決勝トーナメント戦に出場する。

## 7. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 7-(2)に定めるもののほか、次による。

- (1) 日本バレーボール協会登録規程により、有効に登録された者で構成されたチームであり、平成 30 年 4 月 1 日をもって、男子は満 40 歳以上、女子は満 35 歳以上の選手で構成されたチーム。
  - (2) 第 73 回国民体育大会バレーボール競技会（都道府県予選会及びブロック大会を除く）に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ 2018 バレーボール競技会に選手として参加することはできない。
  - (3) 各都道府県バレーボール協会長から推薦された男・女各代表チーム(選抜または各都道府県予選によって選ばれたチーム)1 チーム及び開催地代表チーム男・女各 1 チーム。
  - (4) 監督・コーチ・マネージャーのうち 1 名以上は、日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ・上級コーチ・指導員・上級指導員の有資格者とする。
- (注) 参加申込の際は、資格を証明する登録証又は認定証の写しを添付すること。

## 8. チーム構成

チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 18 名の合計 21 名以内とする。

## 9. 表彰

- (1) 第 1 位から第 3 位までのチーム構成員(監督・コーチ・マネージャーを含む)に、記念品を授与する。
- (2) 第 1 位から第 3 位までのチームに、賞状を授与する。

## 10. 参加料

1 人 5,000 円(監督・コーチ・マネージャー専任者を除く)

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 11. 参加申込方法

- (1) 参加希望チームは、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県バレーボール協会に申込む。
- (2) 参加申込書は、都道府県バレーボール協会が所定の様式により 4 部作成し、平成 30 年 7 月 13 日(金)必着にて、1 部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、3 部を北海道バレーボール協会に送付する。  
なお、参加料についても、都道府県バレーボール協会が男女取りまとめ、平成 30 年 7 月 13 日(金)までに北海道バレーボール協会に納入する。
- (3) 参加申込後の選手の交代は認めない。但し、監督・コーチ・マネージャーについては、所定の様式により代表者会議にて受け付ける。



## 12. 参加上の注意

総則7-(2)-④に定めるもののほか、次による。

- (1) ユニフォーム
  - ①必ず所属都道府県名を明示すること。
  - ②番号は1～18番とし、やむを得ない場合1～99番とする。参加申込書に記載した番号と同じ番号のユニフォームを着用のこと。
  - ③ユニフォームへの広告表示については日本バレーボール協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- (2) 参加資格違反等、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止することがある。
- (3) 選手は、開始式には必ず参加すること。この際の服装は、原則としてチームのユニフォームとする。

## 13. 宿泊・交通申込について

日本バレーボール協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。なお、本大会の趣旨に沿い、参加チームは、原則として旅行会社に宿泊を申し込み、その割り振りに従うこと。

## 14. その他

- (1) 組合せ抽選会  
日 時／平成30年7月29日(日) 13:00～16:00  
会 場／札幌市中島体育センター 研修室  
〒064-0931 北海道札幌市中央区中島公園 1-5 TEL:011-530-5906
- (2) 委員長会議  
日 時／平成30年9月14日(金) 11:00～12:00  
会 場／美香保体育館 多目的室B  
〒065-0022 北海道札幌市東区北22条東5丁目1-1 TEL:011-741-1972
- (3) 審判研修会  
日 時／平成30年9月14日(金) 13:00～14:00  
会 場／美香保体育館 競技室
- (4) 競技研修会  
日 時／平成30年9月14日(金) 13:00～14:00  
会 場／美香保体育館 多目的室B
- (5) 代表者会議(チーム代表者は必ず出席すること)  
日 時／平成30年9月14日(金) 15:00～16:00  
会 場／美香保体育館 競技室
- (6) 決勝トーナメント抽選会  
日 時／平成30年9月15日(土) 18:00～(男子18:00～ 女子18:30～)  
会 場／美香保体育館 競技室

## 15. 申込書類提出先(お問い合わせ先)

北海道バレーボール協会

〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内  
TEL:011-820-1750 FAX:011-820-1751

## <5> バスケットボール競技

### BASKETBALL

- 1. 主催** 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会 北海道公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本バスケットボール協会
- 2. 主管** 一般財団法人北海道バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会
- 3. 期 日** 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 18 日(火)まで(4 日間)

種別	9 月 15 日(土)	9 月 16 日(日)	9 月 17 日(月・祝)	9 月 18 日(火)
男子	1 回戦	2 回戦	3 回戦 準々決勝	準決勝 決勝
女子	1 回戦	2 回戦	準々決勝 準決勝	決勝

- 4. 会 場** 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)  
〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平 5 条 11-1-1

#### 5. 種別及び参加人員

種別	スタッフ	選手	参加都道府県	小計	合計
男子	5 名	15 名	48 チーム	960 名	1,900 名
女子	5 名	15 名	47 チーム	940 名	

\* スタッフは責任者 1 名、監督 1 名、アシスタントコーチ 1 名、マネージャー 1 名、トレーナーまたはドクター 1 名、選手は 15 名以内とする。

\* 日韓スポーツ交流による韓国男子 1 チームが参加する。

#### 6. 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規則は、2018 年度バスケットボール競技規則による。
- (2) 男女ともトーナメント方式とし、3 位以下の決定戦は行わない。
- (3) 試合時間は、男女とも以下のとおりとする。同点の場合は、競技規則に従い延長戦を行う。

前半				後半		
第 1 ペリオド (第 1 クォーター)	休息	第 2 ペリオド (第 2 クォーター)	休息	第 3 ペリオド (第 3 クォーター)	休息	第 4 ペリオド (第 4 クォーター)
10 分	2 分	10 分	10 分	10 分	2 分	10 分

- (4) 参加チームは、濃淡 2 色のユニフォームを用意しなければならない。
  - ① ユニフォームはチーム名の他に、都道府県名を漢字で表記すること。
    - ア. チーム名が表記されている場合の都道府県名は、1 文字縦 5 cm、横 5 cm とする。
    - イ. チーム名が都道府県の場合の文字は、1 文字の大きさは縦 10 cm、横 7.5 cm 以上とする。



②ユニフォームの番号は、0 番から 99 番とし、ユニフォームの前と後ろに、ユニフォームの色とはっきり区別できる単色の幅 2cm 以上の番号を付ける。

背番号は少なくとも高さ 20 cm、前の番号は少なくとも 10 cm 以上とする。また、異なるプレーヤーに同じ番号を用いてはならない。

③ユニフォーム規程に違反のある場合は出場を認めない。

\*特に 2015 年 3 月 14 日付にて各都道府県協会へ案内している下記内容については、すでに、経過処置をとっていることから各チームは遵守すること。

◎該当規定：【2015～バスケットボール競技規則】第4条. 3 ユニフォーム(4. 3. 1)

【ユニフォーム規程】3. パンツ(3. 1. 3)

「※パンツの長さはひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない。」

## 7. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

- (1) 日本在住者で、平成 30 年 4 月 1 日現在で満 40 歳以上の者。
- (2) 選手は、平成 30 年度日本バスケットボール協会に登録している者とする。
- (3) 所属都道府県は、現住所または勤務地のいずれかを選択することができる。
- (4) 各都道府県バスケットボール協会は、男女各 1 チームの代表チームを単独、補強または選抜のいずれかの方法で推薦または選出する。

なお、複数チーム参加希望の都道府県にあつては、推薦順位(第1位～第3位/参加申込書に推薦順位を明記する事)をつけて申し込むことができる。

但し、第 2 位推薦以降の参加の可否については日本バスケットボール協会が決定し、都道府県バスケットボール協会宛通知する。

- (5) 第 73 回国民体育大会バスケットボール競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ 2018 バスケットボール競技会に選手として参加することはできない。
- (6) 監督については、日本スポーツ協会公認バスケットボールコーチ・上級コーチ・指導員・上級指導員のいずれかの資格及び平成 30 年度 JBA 公認 C 級コーチ以上の資格を有する者とする。

◎コーチ登録証の携帯について

ベンチで指揮を執る者は、試合前、TO にてサインをする際、必ずコーチ登録証を提示すること。また、試合中は、コーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネックストラップを使用し、首から下げておくこと。

監督兼選手の者がプレー中は、ベンチにおいて、平成 30 年度 JBA 公認 C 級コーチ以上の資格を有する者が指揮をとること。(選手兼でもよい)

また、トレーナー及びスポーツドクターは日本スポーツ協会公認資格を有することが望ましい。

なお、予選会を都道府県内の別途選手権大会を兼ねる大会で実施する場合、本大会実施要項に抵触する選手及びチームは本大会予選会出場として見なさない。

## 8. 表彰

- (1) 第 1 位から第 3 位までのチーム構成員(スタッフを含む)に、記念品を授与する。
- (2) 第 1 位から第 3 位までのチームに、賞状を授与する。

## 9. 参加料

1人 5,000円(スタッフ専任者を除く)

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 10. 参加申込方法

- (1) 参加申込書は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県バスケットボール協会に申込む。
- (2) 参加申込書は、都道府県バスケットボール協会が所定の様式により4部作成し、平成30年7月2日(月)必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を公益財団法人日本バスケットボール協会に、1部を一般財団法人北海道バスケットボール協会に送付する。  
また、参加料は都道府県バスケットボール協会が取りまとめて、参加申込と同時に公益財団法人日本バスケットボール協会へ納入する。

◎振込先:三菱UFJ銀行 虎ノ門支店 普通 0706048

公益財団法人日本バスケットボール協会 事業口

(コウエキサイタンホウジンニホンバスケットボールキョウカインギョウクチ)

振込人名義「マスターズ 都道府県名 男子(女子) 代表者名」

※個人名のみではなく必ず上記要領でお振込み下さい。

- (3) 参加申込後に選手等を交代する場合には、所定の選手変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。
- (4) 選手等の変更については、疾病、傷害等の特別な場合のみ、代表者会議開始まで変更を認めるものとし、証明する書類(医師の診断書等)を添付すること。

## 11. 組合せ抽選会

- (1) 組合せ抽選会は、公益財団法人日本バスケットボール協会及び一般財団法人北海道バスケットボール協会の責任抽選とする。
- (2) 男女共、前年度大会1位から3位(3位:2チーム)の都道府県については、今年度大会におけるシードの対象とする。

## 12. 参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

## 13. 宿泊・交通申込について

日本バスケットボール協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県バスケットボール協会に送付し、都道府県バスケットボール協会は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

## 14. その他

### (1) 組合せ抽選会

日 時／平成 30 年 7 月 9 日(月) 13:00～

会 場／公益財団法人日本バスケットボール協会 会議室

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル 6 階

TEL:03-4415-2020 / FAX:03-4415-2021

### (2) 代表者会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 15:00～

会 場／北海道立総合体育センター(北海きたえーる)

〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平 5 条 11-1-1

TEL:0798-43-1143 FAX:0798-43-1144

代表者会議と開始式を同時に行いますので、参加チームは必ず1名の出席をお願いいたします。欠席した場合に代表者会議での遵守事項の伝達が出来ずチームに不利益が及ぶことを無くす為にも、必ず出席して下さい。

### (3) 連絡問合せ先

#### ① 公益財団法人日本バスケットボール協会

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル 6 階

TEL:03-4415-2020 / FAX:03-4415-2021

#### ② 開催地:一般財団法人北海道バスケットボール協会

(連絡者:片桐 省三)

TEL:011-820-1632

### (4) 本部宿舎

東横 INN 札幌すすきの交差点

〒064-0804 北海道札幌市中央区南 4 条西 3-4-1

TEL:011-207-1045

# <6> 自 転 車 競 技

## CYCLING

- 主 催** 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本自転車競技連盟
- 主 管** 北海道自転車競技連盟 札幌自転車競技連盟
- 期 日** 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 16 日(日)まで (2 日間)
- 会 場** モエレ沼公園 〒007-0011 北海道札幌市東区モエレ沼公園 1-1

### 5. 種目(種別)・参加人員及び年齢区分

#### (1) 実施種目(種別)・参加人員

##### 【ロード・レース】

種 目	種 別	1 部	2 部	3 部	4 部	5 部	6 部
男子	① タイム・トライアル(TT)	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名
	② クリテリウム	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名
女子	③ タイム・トライアル(TT)	40 名					
	④ クリテリウム	40 名					

\*都道府県代表は、監督(選手を兼務することができる 1 名と選手(10 名まで)の編成とする。

\*各種別において、参加人員に満たない及び超過の場合には、種目統合や各都道府県推薦選手数に上限をもうけるなどの調整を行うことがある。

\*上記に加え、日韓スポーツ交流により派遣される韓国選手(18 名を限度とする)が加わる。

同一種目同一種別内における選手数は 2 名を上限とし、3 人目以降はオープン参加とする。

#### (2) 年齢区分および距離

男子 1 部	35 歳以上、40 歳未満	(TT 3.25Km / クリテリウム 71.50km 22 周)
男子 2 部	40 歳以上、45 歳未満	(TT 3.25Km / クリテリウム 71.50km 22 周)
男子 3 部	45 歳以上、50 歳未満	(TT 3.25Km / クリテリウム 61.75km 19 周)
男子 4 部	50 歳以上、55 歳未満	(TT 3.25Km / クリテリウム 61.75km 19 周)
男子 5 部	55 歳以上、60 歳未満	(TT 3.25Km / クリテリウム 42.25km 13 周)
男子 6 部	60 歳以上	(TT 3.25Km / クリテリウム 42.25km 13 周)
女子	35 歳以上	(TT 3.25Km / クリテリウム 32.50km 10 周)

### 6. 競技規則

2018 年版日本自転車競技連盟競技規則及び大会特別規則による。

### 7. 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

総則に定めるほか、次による。

日本自転車競技連盟の 2018 年登録を完了し、所属都道府県自転車競技連盟の承認を得た下記に該当する者。

## 1) 選手

- (1) 登録者規程を適用する。  
(UCI プロチーム、UCI プロフェッショナル・コンチネンタルチームとプロフェッショナル競技者として契約していた者、あるいは自転車競技法に定める競輪振興法人に選手として登録していた者は、契約または登録を解除してから満1年を経過しなければ参加できない)
- (2) 年齢は平成30年4月1日現在、満35歳以上とする。
- (3) 第73回国民体育大会自転車競技会（都道府県予選会及びブロック大会を除く）に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2018自転車競技会に選手として参加することはできない。

## 2) 監督

日本スポーツ協会公認自転車競技指導者（指導員・コーチ・上級コーチ）の資格を有する者、もしくは日本自転車競技連盟へチームアテンダントとして登録している者が望ましい。ただし、本大会は日本自転車競技連盟登録競技者および審判員資格所有者も認める。

## 8. 表彰

各種目の第1位から第3位までに記念品と賞状を、第4位から第8位までに賞状を授与する。

## 9. 参加料

1人5,000円（監督専任者を除く）

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 10. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、所属都道府県自転車競技連盟に申込む。
- (2) 各都道府県自転車競技連盟は、参加資格を確認の上、所定の参加申込書を3部作成し、平成30年7月13日（金）必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本自転車競技連盟に送付する。また、参加申込書および参加登録DBのExcelファイルをgyomu@jcf.or.jpのアドレスまでデータにて送付する。  
なお、参加料は各都道府県自転車競技連盟が取りまとめて、参加申込と同時に日本自転車競技連盟に納入する。
- (3) 参加申込後の変更は、所定の変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。

## 11. 参加上の注意

- (1) ユニフォームは、各都道府県もしくは所属チームのものを着用すること。
- (2) 受付時に競技者登録証を提示すること。
- (3) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (4) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (5) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

- (6) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (7) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (8) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

## 12. 宿泊・交通申込について

日本自転車競技連盟は、日本スポーツ協会より配付される宿泊・交通・弁当案内を都道府県自転車競技連盟に送付し、都道府県自転車競技連盟は参加申込者に配付する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

## 13. 会議・受付日程等(予定)

### (1) 主要役員会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 15:00～17:00

会 場／モエレ沼公園

〒007-0011 北海道札幌市東区モエレ沼公園 1-1 TEL:011-790-1231

<http://moerenumapark.jp>

### (2) 選手受付

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 15:00～17:00

15 日(土) 7:30～8:00

会 場／モエレ沼公園

### (3) 競技役員会議

日 時／平成 30 年 9 月 15 日(土) 7:00～7:50

会 場／モエレ沼公園

### (4) 監督会議

日 時／平成 30 年 9 月 15 日(土) 7:40～8:10

会 場／モエレ沼公園

### (5) 開始式

日 時／平成 30 年 9 月 15 日(土) 12:30～

会 場／モエレ沼公園

### (6) 閉会式

日 時／平成 30 年 9 月 16 日(日) 15:30～

会 場／モエレ沼公園

### (7) 本部宿舎

東横 INN 札幌駅北口

〒060-0806 北海道札幌市北区北 6 条西 1-4-3 TEL:011-728-1045

# <7> ソフトテニス競技

## SOFT TENNIS

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会 北海道  
公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本ソフトテニス連盟 江別市

2. 主管 北海道ソフトテニス連盟 札幌ソフトテニス連盟

3. 期 日 平成30年9月15日(土)から16日(日)まで(2日間)

種別	9月15日(土)	9月16日(日)
都道府県対抗 団体戦	監督会議 開始式 予選リーグ	決勝トーナメント (予選リーグ順位別) 表彰式

4. 会場 北海道立野幌総合運動公園テニスコート (16面)  
〒069-0832 北海道江別市西野幌 481 番地

### 5. 参加人員

種別	監督	コーチ	男子	女子	参加都道府県	合計
団体戦	1名	1名	5名	5名	48チーム	576名

- \* 各都道府県1チーム及び開催都道府県追加1チーム。
- \* 監督及びコーチは選手兼任でも可とする。
- \* 上記に加え、日韓スポーツ交流により派遣される韓国チームが加わる。韓国チームの参加は2チームとし、監督各1名、選手男女各10名の合計22名とする。

### 6. 競技上の規程及び試合方法

#### (1) 競技規程

競技規則及び大会運営は、日本ソフトテニス連盟のソフトテニスハンドブックによる。  
ただし、韓国チームとの対戦は国際ルールにより行う。

#### (2) 使用球

選択制 (ケンコーボール アカエム スリクソン)

#### (3) 試合方法

①都道府県対抗の団体戦とし、予選リーグ・決勝トーナメントとする。

各対戦とも5種別全試合を行い、順位別トーナメントの決勝のみ3点先取とする。  
天候等の諸事情により、試合方法を変更する場合がある。

##### ・予選リーグ

数ブロックによる予選リーグを行う。

##### ・決勝トーナメント

予選リーグの順位により、各順位による決勝トーナメントを行う。

但し、3位決定戦は行わない。



②チーム編成は、男女とも平成30年4月1日現在の年齢により、次のA、B、C、D、E種別の5ペアによるチーム編成とする。

A：35歳以上の女子    B：35歳以上の男子    C：45歳以上の女子  
D：45歳以上の男子    E：35歳以上の女子と45歳以上の男子の混合

③オーダー順は次のとおりとする。

全試合：A、B、E、C、D

## 7. チームの選出方法

各都道府県ソフトテニス連盟は、代表1チームを予選もしくは選考で決定する。

開催都道府県は2チーム出場できる。

## 8. 参加資格

- (1)日本ソフトテニス連盟の公認審判員制度の有資格者であること。また、本要項6-(3)-②に示す各年代の所属都道府県代表者であること。
- (2)第73回国民体育大会ソフトテニス競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2018ソフトテニス競技会に選手として参加することはできない。
- (3)監督は、日本スポーツ協会公認ソフトテニス指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有することが望ましい。
- (4)監督及びコーチは選手登録をすれば選手を兼ねることができるが、年齢条件を必ず満たしていること。
- (5)1人1種別の出場とし、複数種別に出場することはできない。
- (6)申込後、チームの変更(AとB)及び種別の変更は認めない。

## 9. 参加上の注意

- (1)日本ソフトテニス連盟(以下「連盟」)指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- (2)ユニフォームは、連盟が公認したメーカーの製品で「ユニフォーム等の着用基準」を遵守した製品を着用すること。ただし、本大会に限り、オーバーウェア、襟付き長袖スポーツシャツ及び長袖アンダーウェアの着用を認める。
- (3)シューズは、連盟が公認したメーカーのテニスシューズを着用すること。
- (4)ラケットは、連盟の公認マークが添付されたものを使用すること。
- (5)所定時刻までに受付を完了し、開始式にはユニフォームを着用の上、必ず参加すること。
- (6)公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときはワッペンを左胸に着用すること。
- (7)入賞チームは、ユニフォームを着用の上、必ず表彰式に参加すること。
- (8)①参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。  
②事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。  
③大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。  
④参加者は、健康保険証を持参すること。  
⑤緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。



⑥薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携帯すること。

## 10. 表 彰

- (1) 第1位から第3位までのチーム全員に記念品を授与する。
- (2) 第1位から第3位までのチームに賞状を授与する。

## 11. 参加料

1 チーム 60,000 円とする。

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 12. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県ソフトテニス連盟へ申し込む。
- (2) 都道府県ソフトテニス連盟は、参加資格、参加人員の規定に合せ、選手を選出し、所定の参加申込書を3部作成し、平成30年7月13日(金)必着にて、1部を都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本ソフトテニス連盟に提出する。なお、参加料は参加申し込みと同時に日本ソフトテニス連盟に納入する。
- (3) 参加申し込み後に選手等変更する場合は、所定の参加者変更届を、上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。

## 13. 宿泊・交通申込について

日本ソフトテニス連盟は、日本スポーツ協会から配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県ソフトテニス連盟に送付する。都道府県ソフトテニス連盟は、参加者の宿泊・交通・弁当の申し込みを取りまとめ、申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

## 14. その他

### (1) 監督会議

日 時／ 平成30年9月15日(土) 8:25～

会 場／ 北海道立野幌総合運動公園

〒069-0832 北海道江別市西野幌481番地 TEL:011-384-2166

### (2) 練習コート（無料）

日 時／ 平成30年9月14日(金) 13:00～17:00

会 場／ 北海道立野幌総合運動公園

### (3) 本部宿舎

東横イン札幌駅西口北大前

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西4-22-7 TEL:011-717-1045

# <8> 軟 式 野 球 競 技

## BASEBALL

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会 北海道  
公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人全日本軟式野球連盟 江別市 石狩市

2. 主 管 北海道軟式野球連盟 札幌軟式野球連盟

3. 期 日 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 17 日(月・祝)まで(3 日間)

種 別	9 月 15 日(土)	9 月 16 日(日)	9 月 17 日(月・祝)
男 子	1 回戦	2 回戦・準々決勝	準決勝・決勝

## 4. 会 場

円 山 球 場 〒064-0959 北海道札幌市中央区宮ヶ丘 3 番地  
麻 生 球 場 〒001-0045 北海道札幌市北区麻生町 7 丁目  
道立野幌総合運動公園 硬式野球場 〒069-0832 北海道江別市西野幌 481 番地  
青 葉 公 園 野 球 場 〒061-3244 北海道石狩市新港南 3 丁目 706 番  
飛 鳥 山 公 園 野 球 場 〒067-0002 北海道江別市緑町西 2 丁目 11 番地  
道立野幌総合運動公園 軟式野球場 〒069-0832 北海道江別市西野幌 481 番地

## 5. 参加人員

種別	監督	責任者・マネージャー・スコアラー	選 手	参加都道府県	合 計
男子	1 名	各 1 名	15~20 名	31 チーム	744 名
韓国男子	1 名	各 1 名	15 名	1 チーム	19 名
合計				32 チーム	763 名

\*監督・マネージャー・スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。

## 6. 競技上の規程及び方法

### (1) 競技規程

2018 年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。

なお、大会規程は全日本軟式野球連盟規程細則による。

### (2) 試合方法

①試合は 7 回戦とする。また指名打者制を採用する。(公認野球規則 5.11)

②トーナメント方式による。ただし、3 位決定戦は行わない。

### (3) コールドゲーム

得点差によるコールドゲームは採用しない。

### (4) タイブレイク方式(特別延長戦)

7 回を完了して、同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。

①延長戦の回数は、最長 9 回までとする。

②試合開始後、2 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。

③前記、「①、②」を終了しても同点のときは、引き続きタイブレイク方式を行う。

### (5) 大会使用球

全日本軟式野球連盟公認球(M号)を使用する。

## 7. チームの選出方法

- (1) 各都道府県軟式野球連盟において、各都道府県ブロック代表チームを予選もしくは選考会で決定する。
- (2) ブロック予選会区分及び代表チーム数  
北海道 2、東北 3、関東 5、北信越 3、東海 2、近畿 3、中国 3、四国 2、九州 5、開催県 3

## 8. 参加資格、所属都道府県及び年齢基準

- (1) 日本在住者で、平成 30 年 4 月 1 日現在で満 40 歳以上の者。
- (2) 参加者は同一都道府県に居住、または勤務する者で編成されたチームとする。
- (3) 参加チームは、平成 30 年度各都道府県軟式野球連盟の推薦したチームとする。
- (4) 参加する選手は、本大会及び末端支部大会、都道府県大会、ブロック大会に出場するために、所属チーム以外のチームから出場することができる。ただし、ブロック大会に出場したチームは、メンバーを変更して本大会に出場することはできない。
- (5) 第 73 回国民体育大会軟式野球競技会（予選会を除く）に監督及び選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ 2018 軟式野球競技会に監督及び選手として参加することはできない。
- (6) 本大会に参加する監督は下記のいずれかの資格を有することが望ましい。
  - ①日本スポーツ協会公認軟式野球コーチ・上級コーチ
  - ②日本スポーツ協会公認軟式野球指導員・上級指導員

## 9. 表彰

- (1) 第 1 位から第 3 位までのチーム構成員（監督等含む）に、記念品を授与する。
- (2) 第 1 位から第 3 位までのチームに、賞状を授与する。

## 10. 参加料

1 人 5,000 円（監督・責任者・マネージャー・スコアラー専任者を除く）

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 11. 参加申込方法

- (1) 出場資格を得たチームは、全日本軟式野球連盟の HP より所定の参加申込書等をダウンロードして、「参加申込書」「参加登録DB」に必要事項を入力の上、所属都道府県（軟式）野球連盟（協会）宛に原則データ様式にて申込む。
- (2) 各都道府県（軟式）野球連盟（協会）は、提出された参加申込書等を確認後、**平成 30 年 8 月 6 日(月)**までに、全日本軟式野球連盟及び所属都道府県体育・スポーツ協会宛に提出すること。  
尚、下記の通り、それぞれ提出方法が異なるので注意すること。
  - ・全日本軟式野球連盟宛：E-Mail での提出とする。
  - ・所属都道府県体育・スポーツ協会宛：必ず都道府県（軟式）野球連盟（協会）会長印を捺印し、1 部提出する。
- (3) 「参加申込書」には責任者・監督・マネージャー・スコアラー・主将・以下その他の選手は、背番号の若い方から入力すること。また「参加登録DB」には、「参加申込書」に入力した全てのチーム構成員を入力すること。なお、参加料は都道府県軟式野球連盟が取りまとめて、参加申込と同時に全日本軟式野球連盟に納入すること。
- (4) 開催地競技団体の北海道軟式野球連盟へは、全日本軟式野球連盟より提出された全チーム

の参加申込書類を送付する。

## 12. 参加上の注意

- (1) 参加申込書提出後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は一切認めない。
- (2) 背番号は0～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番、コーチは28番、29番とする。
- (3) 競技に際しては、所属都道府県名を左上腕部に明記したユニフォームを着用しなければならない。
- (4) 木製バット以外は、全日本軟式野球連盟公認のバットであること。
- (5) 捕手は危険防止のため、全日本軟式野球連盟公認のヘルメット、マスク、プロテクター、レガーズを必ず着用すること。
- (6) 打者、走者、次打者及びベースコーチは、必ず競技者必携に記載のヘルメットを着用すること。
- (7) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを着用すること。
- (8) 監督会議には、出場チームの監督又は主将が必ずユニフォームを着用し、「2018年度競技者必携」を持参の上出席すること。出席しない場合は原則として棄権したものとみなす。
- (9) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (10) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (11) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (12) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (13) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (14) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

## 13. 宿泊・交通申込について

全日本軟式野球連盟は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県軟式野球連盟に送付し、都道府県軟式野球連盟は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

## 14. その他

- (1) 組合せ抽選会  
全日本軟式野球連盟役員並びに北海道軟式野球連盟役員立会いの上、代理抽選を行う。  
日 時／平成30年8月7日(火) 14:00  
会 場／公益財団法人全日本軟式野球連盟 会議室  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 軟式野球会館 TEL：03-3404-8831
- (2) 監督会議  
日 時／平成30年9月14日(金) 14:00  
会 場／札幌市中島体育センター 2F 講堂  
〒064-0931 北海道札幌市中央区中島公園1番5号 TEL：011-530-5906

## <9> ソフトボール競技

### SOFTBALL

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会 北海道  
公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本ソフトボール協会 石狩市

2. 主管 北海道ソフトボール協会 札幌ソフトボール協会 石狩管内ソフトボール協会  
石狩ソフトボール協会

3. 期 日 男子：平成 30 年 9 月 15 日(土)から 18 日(火)まで(4 日間)  
女子：平成 30 年 9 月 15 日(土)から 17 日(月・祝)まで(3 日間)

種別	9月15日(土)	9月16日(日)	9月17日(月・祝)	9月18日(火)
男子	1回戦	2回戦	3回戦	準決勝 決勝
女子	1回戦	2回戦 3回戦	準決勝 決勝	

※エントリー状況により、日程を増減する場合がある。

#### 4. 会場

男子：美香保公園野球場 〒065-0022 北海道札幌市東区北 22 条東 4 丁目  
はまなす国体記念石狩市スポーツ広場 〒061-3218 北海道石狩市花畔 337-3  
女子：美香保公園野球場 〒065-0022 北海道札幌市東区北 22 条東 4 丁目  
モエレ沼公園野球場 〒007-0011 北海道札幌市モエレ沼公園

#### 5. 参加人員

種別	監督	コーチ	スコアラー	選手	参加チーム	小計	合計
男子	1名	2名	1名	25名	48チーム	1,392名	2,813名
女子	1名	2名	1名	25名	49チーム	1,421名	

\*監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。

また、参加しない都道府県があっても補充はしない。

\*参加チームは、各都道府県 1 チーム（開催地は 2 チーム）の合計 48 チームとし、女子種別においては、韓国代表チーム 1 チームを加えた合計 49 チームとする。

\*韓国代表チームは、上記参加人員とは別に通訳 1 名のベンチ入りを認める。

#### 6. 競技上の規程及び方法

##### (1) 競技規程

競技規程は「2018年度日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール」を適用する。

##### (2) 試合方法

- ・トーナメント方式による。ただし、3 位決定戦は行わない。
- ・1 回戦～準決勝戦は 90 分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次のイニングよりタイブレーカーにより試合を続行する。但し、タイブレーカーは 2 イニングまでとし、タイブレーカーで 2 イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
- ・決勝戦は、時間制限を設けずオフィシャルルールに従う。

- ・サスペンデットゲームを採用する。

## 7. チームの選出方法

各都道府県ソフトボール協会において、各都道府県代表チームを予選会で決定する。

## 8. 参加資格、所属都道府県及び年齢基準

- (1) 参加チームは、平成30年度日本ソフトボール協会に登録した男子壮年チーム、女子エルダーチームとする。
- (2) 選手の編成は、最終予選終了時まで日本ソフトボール協会へ登録をした者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み後のメンバーの変更は認めない。
- (3) 第73回国民体育大会ソフトボール競技会（都道府県予選会及びブロック大会を除く）に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2018ソフトボール競技会に選手として参加することはできない。
- (4) 本大会に参加する監督・コーチは、下記①～③のいずれかの資格を有すること。  
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者（監督代行になり得る者）がいなければならない。また、①～③の資格を有さない場合には、都道府県ソフトボール協会が実施する指導者対象講習会の受講により1年間の有効期限付き暫定措置を適用することができる。
  - ①日本スポーツ協会公認ソフトボールコーチ・上級コーチ
  - ②日本スポーツ協会公認ソフトボール指導員・上級指導員
  - ③日本ソフトボール協会公認ソフトボール準指導員

## 9. 表彰

- (1) 第1位から第3位までのチーム構成員（監督、コーチ、スコアラーを含む）に、記念品を授与する。
- (2) 第1位から第3位までのチームに、賞状を授与する。  
なお、順位は第1位（1チーム）、第2位（1チーム）、第3位（2チーム）とし、計4チームとする。

## 10. 参加料

1人5,000円（監督、コーチ、スコアラー専任者を除く）

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 11. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県ソフトボール協会に申込む。
- (2) 参加申込書は、都道府県ソフトボール協会が所定の様式により3部作成し、平成30年7月4日（水）必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本ソフトボール協会に送付する。  
なお、参加料は都道府県ソフトボール協会が取りまとめて、参加申込と同時に日本ソフトボール協会に納入する。

## 12. 参加上の注意

- (1) ユニフォームナンバーは1～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番、コーチは31・32番とし、ユニフォームナンバーの大きさは、15cm以上で統一したものであること。



また、ユニフォーム上衣の胸下にユニフォームナンバーと同番号を付けること。大きさは、6 cm以上 12 cm以内とする。

- (2) ユニフォームへの広告表示は認めない。
- (3) 参加資格に違反が確認された場合は、そのチームの出場を停止することがある。
- (4) 監督会議には、必ずユニフォームを着用して参加すること。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (7) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (8) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (9) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (10) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (11) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳など）を必ず携行すること。

### 13. 宿泊・交通申込について

日本ソフトボール協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県ソフトボール協会に送付し、都道府県ソフトボール協会は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

### 14. その他

- (1) 組合せ抽選会  
日 時／平成 30 年 7 月 12 日(木) 18:00～  
会 場／北海道立総合体育センター「きたえーる」  
〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1-1 TEL:011-820-1703
- (2) 監督会議  
日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 16:00～  
会 場／札幌サンプラザ  
〒001-0024 北海道札幌市北区北 24 条西 5 丁目 1-1 TEL:011-758-3111
- (3) 審判員会議  
日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 17:30～  
会 場／札幌サンプラザ
- (4) 記録員会議  
日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 17:30～  
会 場／札幌サンプラザ
- (5) 本部宿舎  
シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ ホテル&スパリゾート  
〒002-8043 北海道札幌市北区東茨戸 132 TEL:011-773-2211

# <10> バドミントン競技

## BADMINTON

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会 北海道  
公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本バドミントン協会 江別市

2. 主管 北海道バドミントン協会 札幌地区バドミントン協会 江別バドミントン協会

3. 期 日 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 17 日(月・祝)まで(3 日間)

種別	9月15日(土)	9月16日(日)	9月17日(月・祝)
男子	予選リーグ	予選リーグ 決勝トーナメント	決勝トーナメント 決勝戦まで
女子	予選リーグ	予選リーグ 決勝トーナメント	決勝トーナメント 決勝戦まで

4. 会場 江別市民体育館 〒069-1813 北海道江別市野幌町9番地

### 5. 参加人員

種別	監督	コーチ	選手	参加都道府県	小計	合計
男子	1名	1名	6名	48チーム	384名	768名
女子	1名	1名	6名	48チーム	384名	

\*各都道府県1チーム及び開催県追加1チーム

\*上記に加え、日韓スポーツ交流事業により派遣される韓国選手が加わる。

韓国選手の参加人数は男女とも1チーム(各9名 合計18名)とする。

### 6. 競技上の規程及び方法

#### (1) 競技規程

①本大会は、平成30年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

②使用用器具は、公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具とする。

③シャトルは、平成30年度公益財団法人日本バドミントン協会第1種検定合格水鳥球(ミズノ製)を使用する。

#### (2) 試合の方法

①男子団体及び女子団体による予選リーグ・決勝トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。試合は、予選リーグは全試合行い、決勝トーナメントは2試合先取打ち切りとする。

②チーム編成は、男女とも、平成30年4月1日現在の満年齢により、次のA、B、C区分の3複によるチーム編成とする。

A : 50歳以上 B : 55歳以上 C : 60歳以上



③オーダー順は次の通りとする。

・予選リーグ 全試合・・・A、B、C

・決勝トーナメントは回戦ごとに次の順で行う。

(1) A、B、C           (2) B、C、A           (3) C、A、B、

## 7. チームの選出方法

各都道府県バドミントン協会は、代表1チームを予選もしくは選考会で決定する。

## 8. 参加資格

- (1) 平成30年度公益財団法人日本バドミントン協会登録者で、本要項第6項(2)-②に示す各年代の都道府県代表者
- (2) 第73回国民体育大会バドミントン競技会（都道府県予選会及びブロック大会を除く）に選手として参加する者は、日本マスターズ2018バドミントン競技会に選手として参加することができない。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ・上級コーチ・指導員・上級指導員資格のいずれかを原則として有する者。
- (4) 監督、コーチは、選手の交代要員として出場することができる。
- (5) 監督またはコーチが選手と交代する場合は、C年代の監督・コーチはA、B、Cの各年代の選手と交代することができ、B年代の監督・コーチはA、B年代の選手と交代できる。
- (6) 大会初日の第一試合開始時に6名いなければ試合は成立しないものとする。

## 9. 表彰

- (1) 第1位から第3位までのチーム構成員全員（監督、コーチを含む）に記念品を授与する。
- (2) 第1位から第5位まで（ベスト8）のチームに賞状を授与する。但し3位まではチーム名とチーム構成員全員の氏名を記載したものをチーム用に1枚、更にチーム名と当該個人名を記載したものをチーム構成員全員に、また5位のチームにはチーム名とチーム構成員全員を記載したものをチーム用に1枚授与する。

## 10. 参加料

1人5,000円

\*納入後の参加料は返金しない

\*地震・風水害等により大会を中止した場合でも、旅費・宿泊費の補償はしない

## 11. 参加申込方法

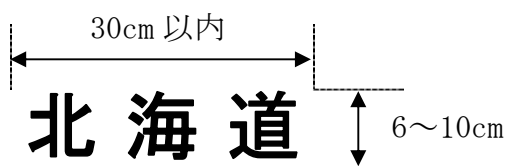
- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県バドミントン協会に申込む。
- (2) 参加申込書は、都道府県バドミントン協会が所定の様式により4部作成し、平成30年7月13日（金）必着にて1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を公益財団法人日本バドミントン協会に、1部を北海道バドミントン協会に送付する。  
なお、参加料は都道府県バドミントン協会が取りまとめて、参加申込書と同時に公益財団法人日本バドミントン協会に納入する。
- (3) 参加申込後に選手等を交代する場合には、所定の選手変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。

## 12. 参加上の注意

- (1) 競技の服装で、色付き着衣については公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品とする。

競技に際しては、上衣背面中央に縦6～10 cm、横30 cm以内の範囲に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

また、ゼッケンを使用する場合には、横30 cm、縦15 cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。



- (2) 選手は開始式に必ず参加すること。この際の服装は、試合時の服装とする。
- (3) ア 参加者は、自ら健康診断を受診する等の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- イ 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関へ移送する。
- ウ 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- エ 参加者は、健康保険証を持参すること。
- オ 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急連絡先を把握しておくこと。
- カ 薬を常時服用している場合、服用している薬がわかるもの（お薬手帳等）を必ず携帯すること。

## 13. 宿泊・交通申込について

日本バドミントン協会は日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県バドミントン協会に送付し、都道府県バドミントン協会は参加申込者に配布する。参加申込者は宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社へ提出する。

## 14. その他

- (1) 組合せ抽選会

日 時／平成30年7月27日（金）13:00～16:00

会 場／公益財団法人日本スポーツ協会 101 会議室

〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 1 階 TEL:03-3481-2215

(2) 監督会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日（金）14:00～15:00

会 場／コミュニティプラザあおい 3 F 富士の間

〒069-1813 北海道江別市野幌町 4-5 TEL：011-385-1211

※国道を挟んだ市民体育館の向かい

(3) 審判会議

日 時／平成 30 年 9 月 15 日（土）8:00～8:30

会 場／江別市民体育館 会議室

〒069-1813 北海道江別市野幌町 9 番地 TEL：011-381-5001

(4) 公式練習

日 時／平成 30 年 9 月 14 日（金）12:00～17:00

会 場／江別市民体育館 競技室

(5) 本部宿舎

東横 INN 札幌すすきの交差点

〒064-0084 北海道札幌市中央区南 4 条西 3 丁目 4-1

TEL：011-207-1045 FAX：011-207-1046

## 15. 備 考

- (1) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- (2) (公財) 日本バドミントン協会環境委員会よりお願い
  - ①開催地のゴミの分別収集に協力してください。
  - ②宿泊先の部屋から出るときには、エアコン・テレビ・ライトのスイッチを消してください。
  - ③マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください。

# <11> 空 手 道 競 技

## KARATEDO

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人全日本空手道連盟

2. 主 管 北海道空手道連盟 札幌地区空手道連盟

3. 期 日 平成 30 年 9 月 15 日(土)から 17 日(月・祝)まで(3 日間)

種 別	9 月 15 日(土)	9 月 16 日(日)	9 月 17 日(月・祝)
男 子	組手(1・2 部) 形(2 部) 個人戦	組手(3・4 部) 形(3・4 部) 個人戦	組手(5・6・7 部) 形(1 部) 個人戦
女 子	組手(1 部) 形(1 部) 個人戦	組手(2・3 部) 形(2 部) 個人戦	組手(4・5 部) 形(3 部) 個人戦

4. 会 場 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ  
〒005-0017 北海道札幌市南区真駒内公園 1-1

### 5. 種別(種目)及び参加人員(年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在のもの)

男 子 [組手 1 部] (40 歳～44 歳) [形 1 部] (40 歳～49 歳)  
[組手 2 部] (45 歳～49 歳) [形 2 部] (50 歳～59 歳)  
[組手 3 部] (50 歳～54 歳) [形 3 部] (60 歳～69 歳)  
[組手 4 部] (55 歳～59 歳) [形 4 部] (70 歳以上)  
[組手 5 部] (60 歳～64 歳)  
[組手 6 部] (65 歳～69 歳)  
[組手 7 部] (70 歳以上)

女 子 [組手 1 部] (35 歳～39 歳) [形 1 部] (35 歳～44 歳)  
[組手 2 部] (40 歳～44 歳) [形 2 部] (45 歳～54 歳)  
[組手 3 部] (45 歳～49 歳) [形 3 部] (55 歳以上)  
[組手 4 部] (50 歳～54 歳)  
[組手 5 部] (55 歳以上)

\*各都道府県からの参加選手は、延べ男子 15 名以内、女子 10 名以内とする。

\*男子の各都道府県からの参加は、延べ 15 名以内で、組手の 1 部～7 部は 3 名まで、形の 1 部～4 部は 2 名まで参加することができる。

\*女子の各都道府県からの参加は、延べ 10 名以内で、組手の 1 部～5 部、形の 1 部～3 部とも 2 名まで参加することができる。

\*監督については、各都道府県 1 名とする。

## 6. 競技上の規程及び方法

競技は、公益財団法人全日本空手道連盟競技規定に基づき行う。

また、競技方法は次の通りとする。

- (1) 男子組手個人戦、女子組手個人戦
  - ①トーナメント方式とする。
  - ②3位決定戦は行わない。
  - ③競技時間はフルタイム2分とする。
  - ④勝負は6ポイント差とする。
- (2) 男子形個人戦、女子形個人戦
  - ①トーナメント方式とする。(旗方式)
  - ②3位決定戦及び敗者復活戦は行わない。
  - ③1回戦は、形競技規定に定める第1指定形の中から選ばなければならない。
  - ④2回戦は、形競技規定に定める第2指定形の中から選ばなければならない。
  - ⑤3回戦以降は、形競技規定に定める得意形の中から選ばなければならない。
  - ⑥選手は、回戦ごとに異なる形を演じなければならない。  
(注)形名については競技規定に定める通りとする。
- (3) 審判員は、全日本空手道連盟が編成した大会審判団による。

## 7. 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

全日本空手道連盟会員登録者で、かつ公認段位の所持者であり、下記に該当する者。

- (1) 平成30年4月1日現在で、前記「5. 種別(種目)及び参加人員」に該当する年齢の者。
- (2) 都道府県空手道連盟の選出を受けた者。
- (3) 所属する都道府県に在住または在勤の者。
- (4) 第73回国民体育大会空手道競技会(都道府県大会、ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2018空手道競技会に選手として参加することはできない。
- (5) 監督については、全日本空手道連盟公認全国・地区審判員と日本スポーツ協会公認空手道指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有する者。
- (6) 選手は、監督を兼ねることができる。
- (7) 監督、選手を兼ねている者が出場する場合、その競技のみの臨時の監督を当該都道府県から出すことができる。但し、上記(5)の資格を有するものとし、事前に競技委員長に別紙申請書により申し出る義務を有する。(臨時監督のIDは用意しない)

## 8. 表彰

- (1) 各種目(部)の第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。
- (2) 各種目(部)の第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。

## 9. 参加料

1人5,000円(監督専任者を除く)

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 10. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県空手道連盟に申込む。
- (2) 都道府県空手道連盟は、参加資格、種目年齢の規定に従い、所定の参加申込書を4部作成し、平成30年7月13日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を全日本空手道連盟に、1部を北海道空手道連盟に送付する。  
なお、参加料は都道府県空手道連盟が取りまとめて、参加申込と同時に全日本空手道連盟に納入する。
- (3) 参加申込締切後の選手の交代は、認めない。

## 11. 参加上の注意

- (1) 形・組手競技とも選手は、全日本空手道連盟認定の青・赤帯を着用するものとする。(帯は各自で用意すること。主催者側では用意しない。)  
また、組手競技では、危険防止のため、全日本空手道連盟指定の安全具(ニューメンホー[V以上]、拳サポーター[赤・青]、ボディープロテクター、セーフティーカップ[女子は除く]、インステップガード・シンガード)を各自で用意すること。

注)組手競技においてはインステップガード・シンガードを着用すること。(前回大会より義務付け。)インステップガード・シンガードは全日本空手道連盟検定[赤・青]あるいは世界空手連盟検定品とする。

- (2) 選手の服装は、開始式、競技中、表彰式とも空手衣とするが、監督は全日本空手道連盟検定ジャージとする。なお、監督のIDカードは、主催者が用意する。
- (3) 選手は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (4) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (5) 大会選手の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する(※1)。なお、選手各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (6) 選手は、健康保険証を持参すること。
- (7) 緊急時対応のため、各チームの監督は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (8) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。
- (9) 胸マークは、各都道府県名を表記した下記規格のものを左胸に堅く縫着する。
  - ①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。
  - ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。
- (10) ゼッケン(※2)を道着の背部に縫着すること(マジックテープ等での仮止めは不可)。

ゼッケンは全日本空手道連盟で作成し、8月下旬ごろに都道府県空手道連盟に送付する。

※1 大会期間中に設置された救護所で臨時の応急手当(救急処置)を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要事項の記入がなされた者が、原則として補償の対象となる。

※2 9月上旬になってもゼッケンが未着の場合は、必ず全日本空手道連盟に問い合わせること。

## 12. 宿泊・交通申込について

全日本空手道連盟は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県空手道連盟に送付し、都道府県空手道連盟は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に送付する。

## 13. その他

### (1) 組合せ抽選会

日 時／平成 30 年 8 月 6 日(月) 14:00～

会 場／公益財団法人全日本空手道連盟

〒135-8538 東京都江東区辰巳 1-1-20 日本空手道会館 TEL:03-5534-1951

### (2) 審判会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 15:00～15:30

会 場／調整中

### (3) 監督会議

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 15:30～16:00

会 場／調整中

### (4) 本部宿舎

ホテルルートイン札幌中央

〒064-0805 北海道札幌市中央区南五条西 5 丁目 13 番 1 TEL:011-518-6111



# <12> ボウリング競技

## BOWLING

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人全日本ボウリング協会

2. 主管 北海道ボウリング連盟 札幌ボウリング協会

3. 期 日 平成30年9月15日(土)から17日(月・祝)まで(3日間)

種別	9月15日(土)	9月16日(日)	9月17日(月・祝)
男子 女子	開始式 2人チーム戦 (前・後半戦)	4人チーム戦 (前・後半戦)	個人選手権者 決定戦 (前・後半戦)

4. 会場 総合レジャーサンコーボウル (公競No.101-086号)  
〒063-0814 北海道札幌市西区琴似四条7丁目1-20

### 5. 参加人員

種別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
男子	1名	4名	30チーム	150名	318名
女子	1名	4名	30チーム	150名	
韓国男子	1名	4名	2チーム	9名	
韓国女子	1名	4名	2チーム	9名	

### 6. 競技方式

競技方式は、デュアルレーン方式(アメリカ方式)により実施する。

### 7. 競技上の規程及び方法

#### (1) 競技規程

全日本ボウリング協会制定のボウリング競技規則並びに選手権競技会規程による。

#### (2) 同位の裁定

各種目において同位が生じた場合、ボウリング競技規則第133条に基づき裁定する。  
ただし、選手権者決定戦において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

#### (3) 競技方法

- ①男・女とも、2人チーム戦(前半3ゲーム・後半3ゲーム 計6ゲーム)、4人チーム戦(前半3ゲーム・後半3ゲーム 計6ゲーム)の競技を行い、2人チーム戦(チーム12ゲーム)、4人チーム戦(チーム24ゲーム)のそれぞれの合計得点により順位を決定する。
- ②個人選手権者決定戦は、2人チーム戦(6ゲーム)、4人チーム戦(6ゲーム)の合計12ゲームの個人成績上位者男・女共24名を選出し、前半(3ゲーム)、後半(3ゲーム)、計6ゲームの競技を行い、その合計得点により男・女の選手権者及び順位を決定する。

### 8. 参加資格

- (1) 平成30年度全日本ボウリング協会登録会員(個人正会員、実業団会員)で、下記に該当する者。

- (2) 日本在住者で、平成 30 年 4 月 1 日現在で満 45 歳以上の者。
- (3) 所属する都道府県に在住または在勤の者。
- (4) 第 73 回国民体育大会ボウリング競技会（全日本ボウリング協会が定める場合を除き、都道府県大会、ブロック大会を除く）に選手として参加する者は日本スポーツマスターズ 2018 ボウリング競技会に選手として参加することはできない。
- (5) 各チームの監督は、選手を兼ねることができるが、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボウリングコーチ・上級コーチ・指導員・上級指導員のいずれかの資格を有する者に限る。

## 9. チームの選出方法

- (1) 都道府県の代表選手の選出は、各都道府県ボウリング連盟が参加資格を確認して、男女各 1 チームを選考する。
- (2) ブロック予選会区分及び代表チーム数

ブロック名	都道府県名	男子	女子	合計
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	6
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5	10
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	3	6
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	3	6
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4	8
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3	6
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2	4
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	5	10
開催地	北海道、札幌市	2	2	4
韓国		2	2	4
	計	32	32	64

注①原則として、ブロック大会に登録(予備登録を含む)、出場した者でなければ、本大会への参加は認められない。

②ブロックの予選会としてどの大会を指定するかは、各地区ボウリング連合で内定の上で、全日本ボウリング協会と協議し決定する。

③ブロック予選開催の都道府県ボウリング連盟は、その結果を全日本ボウリング協会に報告しなければならない。

## 10. 表彰

- (1) チーム戦及び個人戦の第 1 位から第 3 位までの者に、記念品を授与する。(チーム戦については、チーム構成員全員に授与する。)
- (2) チーム戦及び個人戦の第 1 位から第 8 位までの者に、賞状を授与する。(チーム戦については、チーム名とチーム構成員全員の氏名を記載したものをチーム構成員全員に授与する。)

## 11. 参加料

1 人 8,000 円(監督専任者を除く)

\*内訳は、競技参加料(5,000 円)+施設負担金(3,000 円)。

\*納入後の参加料は返金しない。

\*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 12. 参加申込方法

- (1) 参加申込書は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県ボウリング連盟に申込む。
- (2) 参加申込書は、参加都道府県ボウリング連盟が所定の様式により 3 部作成し、平成 30 年 7 月 13 日(金)必着にて、1 部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2 部を全日本ボウリング協会に送付する。なお、参加料は参加都道府県ボウリング連盟が取りまとめて、参加申込と

同時に全日本ボウリング協会へ納入する。

- (3) 参加申込後に選手等を交代する場合には、所定の選手変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。

### 13. 参加上の注意

- (1) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から1個につき500円の登録料を納入するものとし、5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- (2) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は、速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- (3) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円（硬度検査のみ200円）とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- (4) 大会に使用するボールの持ち込みは、4個以内に自粛すること。
- (5) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- (6) 参加選手は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (7) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (8) 大会参加選手の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加選手各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (9) 参加選手は、健康保険証を持参すること。
- (10) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (11) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

### 14. 宿泊・交通申込について

全日本ボウリング協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県ボウリング連盟に送付し、都道府県ボウリング連盟は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

### 15. その他

- (1) 組合せ抽選会  
日 時／平成30年8月2日(木) 11:00～  
会 場／公益財団法人全日本ボウリング協会  
〒108-0014 東京都港区芝 4-4-10 サンライズ長井ビル 8階 TEL:03-3452-4501
- (2) 全体会議  
日 時／平成30年9月14日(金) 10:00～10:30  
会 場／総合レジャーサンコーボウル  
〒063-0814 北海道札幌市西区琴似 4条 7丁目 1-20 TEL:011-641-5211
- (3) 監督会議  
日 時／平成30年9月14日(金) 12:30～13:15  
会 場／総合レジャーサンコーボウル
- (4) 本部宿舎  
琴似グリーンホテル  
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似 3条 1丁目 TEL:011-615-3344

# <13> ゴ ル フ 競 技

## GOLF

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会  
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本ゴルフ協会

2. 主 管 北海道ゴルフ連盟

3. 期 日 平成30年9月12日(水)から14日(金)まで(3日間)

種 別	9月12日(水)	9月13日(木)	9月14日(金)
男子	公式練習・キャプテン会議	競 技	競 技
女子	公式練習・キャプテン会議	競 技	競 技

### 4. 会 場

男子：ツキサップゴルフクラブ 〒004-0821 北海道札幌市清田区有明 412-5

女子：札幌芙蓉カントリー倶楽部 〒004-0821 北海道札幌市清田区有明 463-7

### 5. 参加人員

種別	選手	参加都道府県	小計	合計
男子	3名	47	141名	282名
女子	3名	47	141名	

\*選手の内1名は、「キャプテン会議」に出席すること。

### 6. 競技上の規程及び方法

- (1) 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、及び本競技ローカルルールを適用する。
- (2) 競技委員会の裁定について  
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- (3) 競技は1日18ホール、2日間合計36ホール・ストロークプレー競技とする。
- (4) 団体戦  
各種別とも、各日18ホールのスコアは、3人の中で少ないストロークでプレーした2人の合計スコアとし、2日間36ホールの合計スコアにより順位を決定する。
- (5) 個人戦  
各種別とも、2日間36ホール・ストロークプレーにより順位を決定する。
- (6) タイについて  
団体戦、個人戦ともに、同順位の場合は(1位がタイの場合も含む)、その順位を共有し次の順位を欠位とする。
- (7) 使用球の規格について  
「公認球リストの条件・規則付I(B)1b」を適用する。
- (8) 使用クラブの規定について  
「適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付I(B)1a」を適用する。
- (9) 溝とパンチマークの規格  
裁定4-1/1『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの仕様とその競技の条件』を適用する。

- (10) 移動について  
正規のラウンド中の移動について、「規則付 I(B)8」を適用する。ただし、委員会が認めた場合を除く。
- (11) キャディーについて  
正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は「規則付 I(B)2」を適用する。
- (12) 荒天時の場合の競技成立については、競技委員会が別に定める。

## 7. 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

「総則 7 参加者」に定められるもののほか、次による。

- (1) 日本ゴルフ協会の競技者登録規定による登録競技者（アマチュア）であること。
- (2) 男子は昭和 38 年(1963 年)12 月 31 日以前、女子は昭和 43 年(1968 年)12 月 31 日以前に誕生した者であること。
- (3) 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

\*総則 7 の主な項目の抜粋は次の通りである。なお総則 7 の全文は必ず確認すること。

### ・ 7 - (2) - ①参加資格

- ア 各競技の監督及び選手は、所属都道府県の当該競技団体会長が、代表と認め選抜した者であること。
- イ 監督、選手の兼任は、同一競技内に限る。
- ウ 前記の他、選手については次の通りとする。
  - I. 参加選手は、1 人 1 競技とする。
  - II. 予選を行う必要のある競技は、都道府県、ブロック予選に参加し、これを通過した者。
- エ 第 73 回国民体育大会（都道府県予選会を除く）に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ 2018 に選手として参加することはできない。

### ・ 7 - (2) - ②所属都道府県

- 所属都道府県は、実施中央競技団体が限定する場合を除き、次の 2 ヶ所のいずれかを選択することができる。
- ア 居住地を示す現住所
  - イ 勤務地
- なお、いずれの場合も本人が参加申込書又は手続きに必要な情報を当該都道府県競技団体へ提出した時点を基準とし、提出後に他の都道府県に転居等で移動した場合であっても当該年においては移動前の都道府県に所属するものとする。

### ・ 7 - (2) - ④参加上の注意

- ア 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- イ 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- ウ 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- エ 参加者は、健康保険証を持参すること。
- オ 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- カ 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

・ 7 - (2) - ⑤その他

- イ 参加資格等に疑義が生じたときは、日本スポーツ協会及び当該中央競技団体が調査の上、処分の必要性が認められる場合は別途定める「参加資格違反に関する処分基準」に基づき日本スポーツ協会において審議・処遇を決定する。

## 8. 表彰

- (1) 団体戦及び個人戦の第1位から第3位までの者に、記念品を授与する。
- (2) 団体戦及び個人戦の第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。

## 9. 参加料

1人21,000円とし、下記を含むものとする。

- (1) 日本スポーツマスターズ参加料 (5,000円)
- (2) 競技期間3日間(公式練習日を含む)の、グリーンフィー及びゴルフ場諸掛かり・諸経費。  
ただし、キャディーフィー、クラブハウスでの飲食ほか購入代金などは個人負担とする。  
\* 納入後の参加料は返金しない。  
\* 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

## 10. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県ゴルフ競技団体に申込み。
- (2) 都道府県ゴルフ競技団体は、参加資格、参加人員の規定に合せ、選手を選出の上、所定の参加申込書を4部作成し、平成30年7月13日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本ゴルフ協会に、1部を北海道ゴルフ連盟に提出する。  
なお、参加料は、都道府県ゴルフ競技団体が取りまとめて、平成30年7月13日(金)(参加申込と同時に)日本ゴルフ協会に納入する。
- (3) 参加申込後に選手等を交代する場合には、所定の選手変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて、9月12日(水)正午までに届けなければならない。

項目	期限	備考
参加申込	平成30年7月13日(金)	*提出部数・提出先 2部：日本ゴルフ協会 1部：北海道ゴルフ連盟 1部：所属都道府県体育・スポーツ協会
参加登録DB	平成30年7月13日(金)	1部：日本ゴルフ協会 ※可能な限り、データにて提出
参加料納入	平成30年7月13日(金) (選手1名21,000円)	*振込銀行 三井住友銀行 本店営業部 普通預金 4697590 口座名 公益財団法人日本ゴルフ協会
参加者変更届	平成30年9月12日(水) 正午まで	*提出部数・提出先 2部：日本ゴルフ協会 1部：北海道ゴルフ連盟 1部：所属都道府県体育・スポーツ協会

## 11. 参加上の注意

選手は各都道府県の統一ユニフォームを着用し、ユニフォームには必ず都道府県名を表示する。



## 12. 宿泊・交通申込について

日本ゴルフ協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通案内を都道府県ゴルフ競技団体に送付し、都道府県ゴルフ競技団体は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

## 13. その他

### (1) 組合せ抽選会

日 時／平成 30 年 8 月 8 日(水) 13:00～

会 場／公益財団法人日本ゴルフ協会

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-12-5 京橋 YS ビル 2F TEL:03-3566-0003

### (2) キャプテン会議

日 時／平成 30 年 9 月 12 日(水) 公式練習終了後

会 場／男子：ツキサップゴルフクラブ

女子：札幌芙蓉カントリー倶楽部

### (3) 表彰式

日 時／平成 30 年 9 月 14 日(金) 競技終了後

会 場／男子：ツキサップゴルフクラブ

女子：札幌芙蓉カントリー倶楽部

## 14. 注意事項

パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。



## 4 医療救護について

### 1. 会場でケガや発病をしたとき

会場に設けられた救護所で手当を受けてください。

#### (1) 救護所及び手当について

- ① 救護所には、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが待機し、臨時の応急手当（救急処置）を行います。
- ② 医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが医療機関に搬送する必要を認められた時は、救急自動車等で医療機関に搬送します。
- ③ 救護所からの搬送等により医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証を提示してください。また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。  
※治療費用は受診者負担となります。

#### (2) その他

- ① 救護所の場所は、会場内において看板等により示しています。
- ② 会場内には、AEDを設置しています。

### 2. 宿舎でケガや発病をしたとき

- ① 宿泊先に相談の上、医療機関に問合せをしてから受診してください。  
また、大会時に発行する総合ガイドブック及び競技別プログラムにて、「夜間・休日急患センター」等の情報を掲載します。
- ② 医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証を提示してください。  
また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。  
※治療費用は受診者負担となります。

### 3. 傷害保険の加入について

本大会では、日本スポーツ協会にて、選手・監督等の方を対象とした傷害保険に加入しています。

#### (1) 補償対象と手続きの流れ

大会期間中の急激かつ偶然なケガにより、会場の救護所で臨時の応急手当（救急処置）を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要事項の記入がなされた方が、原則として補償の対象になります。補償の対象者として該当し得る方には、大会終了後約1ヶ月後を目処に日本スポーツ協会から具体的な手続きに必要な書類を送付します。

※大会期間中に救護所へ行かず、「救護台帳」への記入がなされなかった場合は、補償の対象とすることができない場合があります。

※「救護台帳」により取得した個人情報、本大会期間中の傷害事故における保険請求業務に使用する他、引受保険会社へ提供することがあります。

#### (2) 補償内容

補償内容は参加区分により異なります。

(例) 選手・監督の場合（加入者1名につき）

補償内容	補償額
死亡保険金	3,000万円
後遺障害保険金	90万円～3,000万円（程度に応じる）
入院保険金	3,600円
通院保険金	2,400円

※入院・通院保険は1日につき。

※いずれも事故の日からその日を含めて180日以内を支払対象とする。

※入院保険は180日が限度、通院保険は90日が限度となる。

## 5 開会式（前夜祭）について

日本スポーツマスターズでは、参加者の交流・親睦を図ることを目的とした前夜祭的な開会式を開催いたします。開催地ならではの地元色あふれる演出、美味しい料理や地酒により皆さまをおもてなしいたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 30(2018)年 9 月 14 日(金)

**時 間** 受付 15:30 開場 16:00 開会 16:30 閉会 18:00(予定)

**会 場** 札幌パークホテル 3階 パークホール

〒064-8589 北海道札幌市中央区南 10 条西 3 丁目

TEL:011-511-3131

最寄駅:地下鉄南北線「中島公園駅」

(1 番出口より徒歩 1 分/3 番出口より徒歩すぐ)

◇電車で 地下鉄南北線「さっぽろ」駅から 5 分

◇タクシーで 札幌駅から 10 分 1,200 円程度

◇バスで 新千歳空港から連絡バスで 80 分

◇車で 駐車場(220 台) ※車でお越しの場合は、アルコールの提供はできません。

**参加費** 1人 5,000 円(料理、飲物)

- 申し込み**
- ・各競技参加申込書に添付されている「参加登録 DB」にてお申込ください。
  - ・希望者多数の場合は抽選にて参加者を決定し、抽選結果と参加費支払方法を通知します。
  - ・当日参加は一切できません。

### 開会式（前夜祭）の様子〔2017兵庫大会〕



## 6 韓国選手団の参加について

日韓スポーツ交流・成人交歓交流の一環として、韓国選手団が10競技に特別参加します。  
また、本大会への特別参加に加え、期間中は開催地のチームなどと交流試合を実施します。  
韓国選手団の参加についてご理解いただくとともに、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

### 1. 日韓スポーツ交流

#### 概要

日韓スポーツ交流は、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の日本・韓国共同開催決定を契機に、スポーツを通じて両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツ振興と競技力向上を図ることを目的として、日本スポーツ協会が平成9(1997)年度から毎年実施している。

#### 交流の種類

- ・青少年スポーツ交流(夏季・冬季)
- ・成人交歓交流
- ・地域交流(都道府県・市区町村交流)

### 2. 成人交歓交流

#### 主体

日本:日本スポーツ協会、韓国:大韓体育会(KSOC)

#### 交流方式

日本選手団は、韓国の生涯スポーツの祭典「全国生活体育大祝典」へ、韓国選手団は「日本スポーツマスターズ」へそれぞれ特別参加する方式で実施している。

#### 実施競技および人数構成

サッカー 〈男子〉	テニス 〈男女〉	バレー ボール 〈女子〉	バスケット ボール 〈男子〉	自転車 競技 〈男女〉	ソフト テニス 〈男女〉	軟式 野球 〈男子〉	ソフト ボール 〈女子〉	バドミントン 〈男女〉	ボウリング 〈男女〉	本部 役員	合計 人数
19	18	19	18	18	22	19	19	18	18	7	195

【派遣】日本の成人男女(30~70歳)188名、本部役員7名 計195名

【受入】韓国の成人男女(35歳以上)188名、本部役員7名 計195名

※日本スポーツマスターズ競技別実施要項に基づく

#### 平成30年度(2018年)実施概要

<開催地・実施期間>

区分	人数	開催地	実施期間			
派遣	195	忠清南道	5月10日(木)	～	5月16日(水)	7日間
受入	195	北海道 札幌市	9月13日(木)	～	9月19日(水)	7日間

【派遣】韓国の全国生活体育大祝典開催時期

【受入】日本スポーツマスターズ開催時期

<参加人数>

競技		サッカー 〈男子〉 (19名)	テニス 〈男女〉 (18名)	バレー ボール 〈女子〉 (19名)	バスケット ボール 〈男子〉 (18名)	自転車 競技 〈男女〉 (18名)	ソフト テニス 〈男女〉 (22名)	軟式 野球 〈男子〉 (19名)	ソフト ボール 〈女子〉 (19名)	バドミントン 〈男女〉 (18名)	ボウリング 〈男女〉 (18名)	本部 役員	
派遣	北海道 ※1	143名	19	9	19	18	9	13	19	19	9	9	7
	岐阜県 ※2	45名	—	9	—	—	9	9	—	—	9	9	
受入	韓国選手団	19	18	19	18	18	22	19	19	18	18	7	

※1 日本スポーツマスターズ2018 開催地

※2 日本スポーツマスターズ2019 開催地

## 7 都道府県体育・スポーツ協会名簿

団体名	郵便番号	住所	電話番号
公益財団法人 北海道体育協会	062-8572	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011-820-1701
公益財団法人 青森県体育協会	038-0021	青森市安田字近野234-7 青森県総合運動公園内	017-766-2141
公益財団法人 岩手県体育協会	020-0133	盛岡市青山4-13-30	019-648-0400
公益財団法人 宮城県スポーツ協会	981-0122	宮城県利府町菅谷字館40-1	022-349-9655
公益財団法人 秋田県体育協会	010-0974	秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内	018-864-8090
公益財団法人 山形県体育協会	990-2412	山形市松山2-11-30 山形県スポーツ会館内	023-625-5740
公益財団法人 福島県体育協会	960-8065	福島市杉妻町5-75 福島県庁東分庁舎3号館	024-521-7896
公益財団法人 茨城県体育協会	310-0852	水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル2階	029-303-7222
公益財団法人 栃木県体育協会	320-0057	宇都宮市中戸祭1-6-3 スポーツ会館内	028-622-7677
公益財団法人 群馬県スポーツ協会	371-0047	前橋市関根町800 ALSOK ぐんま県総合スポーツセンター内本館1階	027-234-5555
公益財団法人 埼玉県体育協会	362-0031	上尾市東町3-1679 スポーツ総合センター	048-779-5895
公益財団法人 千葉県体育協会	263-0011	千葉市稲毛区天台町323 県総合スポーツセンター内2階	043-254-0023
公益財団法人 東京都体育協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館3階	03-3481-2422
公益財団法人 神奈川県体育協会	221-0855	横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 県立スポーツ会館内	045-311-0653
公益財団法人 山梨県体育協会	400-0836	甲府市小瀬町840 小瀬スポーツ公園内	055-243-3111
公益財団法人 新潟県スポーツ協会	950-0933	新潟市中央区清五郎67-12 デンカビッグスワンスタジアム内	025-287-8600
公益財団法人 長野県体育協会	380-0872	長野市大字南長野字聖徳545-1 スポーツ会館内	026-235-3483
公益財団法人 富山県体育協会	939-8252	富山市秋ヶ島183 富山県総合体育センター内	076-461-7138
公益財団法人 石川県体育協会	920-0355	金沢市稚日野町北222 いしかわ総合スポーツセンター内	076-268-3100
公益財団法人 福井県スポーツ協会	918-8027	福井市福町3-20 福井県営体育館内	0776-34-2719
公益財団法人 静岡県体育協会	422-8004	静岡市駿河区国吉田5-1-1	054-265-6464
公益財団法人 愛知県体育協会	460-0007	名古屋市中区新栄1-49-10 県教育会館内	052-264-1010
公益財団法人 三重県体育協会	510-0261	鈴鹿市御園町1669 三重交通 G スポーツの杜鈴鹿内	059-372-3880
公益財団法人 岐阜県体育協会	502-0817	岐阜市長良福光大野2675-28 岐阜メモリアルセンター内	058-297-2567
公益財団法人 滋賀県スポーツ協会	520-0807	大津市松本1-2-20 滋賀県農業教育情報センター4階	077-521-8001
公益財団法人 京都府体育協会	601-8047	京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内	075-692-3455
公益財団法人 大阪府体育協会	556-0011	大阪市浪速区難波中3-4-36 大阪府立体育会館内	06-6643-5234
公益財団法人 兵庫県体育協会	650-0011	神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館6階	078-332-2344
公益財団法人 奈良県体育協会	630-8501	奈良市登大路町30 奈良県くらし創造部スポーツ振興課内	0742-22-5791
公益社団法人 和歌山県体育協会	640-8262	和歌山市湊通丁北1-2-1	073-431-3982
公益財団法人 鳥取県体育協会	680-8570	鳥取市東町1-220 鳥取県議会棟別館内	0857-26-7802
公益財団法人 島根県体育協会	690-0015	松江市上乃木10-4-2 島根県立水泳プール内	0852-21-5364
公益財団法人 岡山県体育協会	700-0012	岡山市北区いずみ町2-1-3 ジップアリーナ岡山 岡山県広域スポーツセンター内	086-256-7101
公益財団法人 広島県体育協会	730-0011	広島市中区基町4-1 県立総合体育館内	082-221-4600
公益財団法人 山口県体育協会	753-8501	山口市滝町1-1 県政資料館2階	083-933-4697
公益財団法人 香川県スポーツ協会	760-0004	高松市西宝町2-6-40 県教育会館4階	087-833-1580
公益財団法人 徳島県体育協会	770-0942	徳島市昭和町3-35-1 徳島県労働福祉会館5階	088-655-3660
公益財団法人 愛媛県スポーツ協会	790-0843	松山市道後町2-9-14 ひめぎんホール別館内	089-911-1199
公益財団法人 高知県体育協会	780-0850	高知市丸ノ内1-7-52 県庁西庁舎1階南	088-873-6263
公益財団法人 福岡県体育協会	812-0852	福岡市博多区東平尾公園2-1-4 県立スポーツ科学情報センター内	092-622-5775
公益財団法人 佐賀県体育協会	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 県スポーツ会館内	0952-30-7716
公益財団法人 長崎県体育協会	852-8118	長崎市松山町2-5 県営野球場内	095-845-2083
公益財団法人 熊本県体育協会	861-8012	熊本市東区平山町2776 県民総合運動公園陸上競技場内	096-388-1581
公益財団法人 大分県体育協会	870-0908	大分市青葉町1 県立総合体育館スポーツ交流館内	097-504-0888
公益財団法人 宮崎県体育協会	889-2151	宮崎市大字熊野字島山1443-12 宮崎県都市公園管理事務所内	0985-58-5633
公益財団法人 鹿児島県体育協会	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	099-255-0146
公益財団法人 沖縄県体育協会	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館	098-857-0017

(平成30年4月1日現在)



## 8 宿泊・交通・弁当申込先

### 【東武トップツアーズ(株)担当支店一覧】

No.	都道府県 担当支店名	所在地	TEL	FAX
1	北海道	〒060-0051	011 (221)0821	011 (222)4357
	札幌支店	札幌市中央区南一条東1-3(パークイースト札幌7F)		
2	青森	〒030-0801	017 (723)3671	017 (722)1561
	青森支店	青森市新町2-5-6(アート ホテル カラー アオモリ1F)		
3	岩手	〒020-0022	019 (651)8800	019 (653)2093
	盛岡支店	盛岡市大通1-11-13(盛岡フコク生命大通ビル6F)		
4	宮城	〒980-0021	022 (263)3232	022 (265)5765
	仙台支店	仙台市青葉区中央1-6-18(山一仙台中央ビル3F)		
5	秋田	〒010-0951	018 (866)0109	018 (866)0177
	秋田支店	秋田市山王2-1-40(田口ビル1F)		
6	山形	〒990-0031	023 (641)4141	023 (641)1019
	山形支店	山形市十日町1-1-34(山形駅前通ビル2F)		
7	福島	〒960-8041	024 (523)4451	024 (522)0051
	福島支店	福島市大町7-25(アクティ大町5F)		
8	茨城	〒310-0803	029 (224)6627	029 (224)9253
	水戸支店	水戸市城南2-1-20(井門水戸ビル6F)		
9	栃木	〒320-0026	028 (636)7761	028 (636)7760
	宇都宮支店	宇都宮市馬場通り2-3-6(真清館ビル2F)		
10	群馬	〒370-0828	027 (325)3201	027 (325)3913
	高崎支店	高崎市宮元町212(高崎宮元町ビル3F)		
11	埼玉	〒330-0801	048 (642)3686	048 (642)3680
	さいたま支店	さいたま市大宮区土手町1-2(JA共済埼玉ビル8F)		
12	千葉	〒260-0028	043 (243)0109	043 (243)1975
	千葉支店	千葉市中央区新町18-10(千葉第一生命ビル5F)		
13	東京	〒160-0023	03 (5348)2730	03 (5348)2731
	東京スポーツ営業部	新宿区西新宿7-5-25(西新宿木村屋ビルディング16F)		
14	神奈川	〒220-0004	045 (326)1120	045 (326)1122
	横浜支店	横浜市西区北幸2-8-29(東武横浜第3ビル5F)		
15	新潟	〒950-0912	025 (243)1515	025 (243)2255
	新潟支店	新潟市中央区南笹口1-1-54(日生南笹口ビル5F)		
16	山梨	〒400-0031	055 (222)0381	055 (226)0318
	甲府支店	甲府市丸の内2-29-3		
17	富山	〒930-0029	076 (431)7638	076 (441)6790
	富山支店	富山市本町9-10(大同生命富山ビル7F)		
18	石川	〒920-0024	076 (233)0109	076 (222)0147
	金沢支店	金沢市西念1-1-3(コンフィデンス金沢4F)		
19	福井	〒910-0006	0776 (23)2800	0776 (25)0414
	福井支店	福井市中央3-13-1(福井北国ビル3F)		
20	長野	〒380-0825	026 (226)4315	026 (228)3346
	長野支店	長野市末広町1360-1(長野スエヒロビル1F)		
21	長野	〒390-0814	0263 (36)3535	0263 (33)7549
	松本支店	松本市本庄1-1-13(ウイルトスビル)		
22	長野	〒395-0804	0265 (22)1984	0265 (23)3731
	飯田支店	飯田市鼎名古熊2105-1(ローズアネックスII 3F-C)		
23	長野	〒399-4431	0265 (72)3103	0265 (73)9546
	伊那支店	伊那市西春近2916-1(長野日報ビル1F)		
24	岐阜	〒500-8844	058 (263)4657	058 (263)5805
	岐阜支店	岐阜市吉野町6-14(三井生命岐阜駅前ビル5F)		
25	静岡	〒420-0859	054 (255)1919	054 (252)9509
	静岡支店	静岡市葵区栄町3-1(あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F)		
26	愛知	〒441-8061	0532 (47)0109	0532 (47)0198
	豊橋支店	豊橋市藤沢町141(ホリデイ・スクエア内)		
27	愛知	〒460-0002	052 (232)1091	052 (232)1968
	名古屋支店	名古屋市中区丸の内2-18-25(丸の内KSビル11F)		
28	三重	〒514-0035	059 (221)3331	059 (221)3332
	三重支店	津市西丸之内21-19(丸之内ジャスティス3F)		

No.	都道府県 担当支店名	所在地	TEL	FAX
29	滋賀 滋賀支店	〒525-0031 草津市若竹町7-10(KB21 2F)	077 (565)0109	077 (565)0112
30	京都 京都支店	〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入る東鋸屋町186(ヤサカ五条ビル9F)	075 (361)5351	075 (341)1878
31	大阪 大阪法人事業部 第2営業部	〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-28(堂島アクシスビル7階)	06 (6344)3927	06 (6344)3928
32	兵庫 神戸支店	〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-20(ジイテックス アセント ビル3F)	078 (221)1090	078 (221)1567
33	奈良 奈良支店	〒630-8241 奈良市高天町10-1(TT ビル5F)	0742 (23)2371	0742 (24)3971
34	和歌山 和歌山支店	〒640-8331 和歌山市美園町4-90(山十ビル3F)	073 (425)3211	073 (424)1683
35	鳥取 鳥取支店	〒680-0845 鳥取市富安2-159(久本ビル6F)	0857 (23)2001	0857 (27)3327
36	島根 松江支店	〒690-0061 松江市白湯本町13-4(三井生命松江ビル7F)	0852 (21)5425	0852 (23)0433
37	岡山 岡山支店	〒700-8619 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル8F)	086 (225)1746	086 (224)1645
38	広島 広島支店	〒730-0035 広島市中区本通6-11(明治安田生命広島本通ビル6F)	082 (545)1090	082 (542)1333
39	山口 山口支店	〒754-0014 山口市小郡高砂町3-26(ナガオビル6F)	083 (972)5454	083 (972)5464
40	徳島 徳島支店	〒770-0841 徳島市八百屋町3-26(大同生命徳島ビル6F)	088 (622)8991	088 (622)9703
41	香川 高松支店	〒760-0023 高松市寿町2-2-10(高松寿町プライムビル8F)	087 (851)6666	087 (851)6535
42	愛媛 松山支店	〒790-0003 松山市三番町4-11-6(KH三番町ブレイス2F)	089 (941)9231	089 (947)3809
43	高知 高知支店	〒780-0822 高知市はりまや町2-2-11(富士火災高知ビル7F)	088 (875)2171	088 (825)0170
44	福岡 福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-11-1(天神武藤ビル4F)	092 (739)0010	092 (739)7773
45	佐賀 佐賀支店	〒840-0801 佐賀市駅前中央1-4-8(太陽生命佐賀ビル8F)	0952 (26)1131	0952 (29)6005
46	長崎 長崎支店	〒850-0055 長崎市中町1-22(MJMビル5F)	095 (821)7508	095 (821)7395
47	熊本 熊本支店	〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20(富士火災熊本ビル2F)	096 (354)5765	096 (324)5735
48	大分 大分支店	〒870-0034 大分市都町1-1-19(あいおいニッセイ同和損保大分ビル2F)	097 (538)1091	097 (538)1487
49	宮崎 宮崎支店	〒880-0805 宮崎市橘通東3-1-47(宮崎プレジデントビル4F)	0985 (25)6111	0985 (29)3010
50	鹿児島 鹿児島支店	〒890-0053 鹿児島市中央町12-2(明治安田生命鹿児島中央町ビル2F)	099 (257)0109	099 (257)0115
51	沖縄 沖縄支店	〒900-0015 那覇市久茂地3-1-1(日本生命那覇ビル2F)	098 (868)8822	098 (868)8842

## 【大会宿泊・輸送本部】

名称	所在地	TEL	FAX
東武トップツアーズ(株) 札幌支店 日本スポーツマスターズ2018 大会運営事務局	〒060-0051 札幌市中央区南一条東1-3(パークイースト札幌7F)	011 (221)0821	011 (222)4357

※宿泊・交通・弁当は、参加都道府県の上記旅行会社各支店にお申込みください。

※宿泊・交通・弁当の案内については、日本スポーツ協会より中央競技団体を通して、都道府県競技団体に配布します。ご不明な点は各支店担当者にお問合せください。

※上記旅行会社が手配する宿舎は各競技会指定宿舎となり、緊急時に連絡をとることもありますので、上記旅行会社をご利用ください。







## 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ推進部 国内課  
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館2階 TEL.03-3481-2215  
FAX.03-3481-2284

日本スポーツマスターズ2018札幌大会実行委員会事務局  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 TEL.011-211-3044  
ばらと北一条ビル6階 FAX.011-211-3046  
札幌市スポーツ局スポーツ部内

一般財団法人札幌市体育協会  
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-5 TEL.011-511-7787  
札幌市中島体育センター内 FAX.011-511-7797

公益財団法人北海道体育協会  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11-1-1 TEL.011-820-1701  
北海道立総合体育センター内 FAX.011-833-0705

## 実施競技団体

公益財団法人日本水泳連盟  
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 TEL.03-3481-2306  
岸記念体育会館4階 FAX.03-3481-0942

公益財団法人日本サッカー協会  
〒113-8311 文京区本郷3-10-15サッカー通り TEL.03-3830-1809  
JFA ハウス FAX.03-3830-2005

公益財団法人日本テニス協会  
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 TEL.03-3481-2321  
岸記念体育会館4階 FAX.03-3467-5192

公益財団法人日本バレーボール協会  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-30-8 TEL.03-5786-2100  
ダヴィンチ千駄ヶ谷内 FAX.03-5786-2109

公益財団法人日本バスケットボール協会  
〒112-0004 文京区後楽1-7-27 TEL.03-4415-2020  
後楽鹿島ビル6階 FAX.03-4415-2021

公益財団法人日本自転車競技連盟  
〒141-0021 品川区上大崎3-3-1 TEL.03-6277-2690  
自転車総合ビル5階 FAX.03-6277-2691

公益財団法人日本ソフトテニス連盟  
〒140-0014 品川区大井1-16-2-201 TEL.03-6417-1654  
FAX.03-6417-1664

公益財団法人全日本軟式野球連盟  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 TEL.03-3404-8831  
軟式野球会館 FAX.03-3479-2523

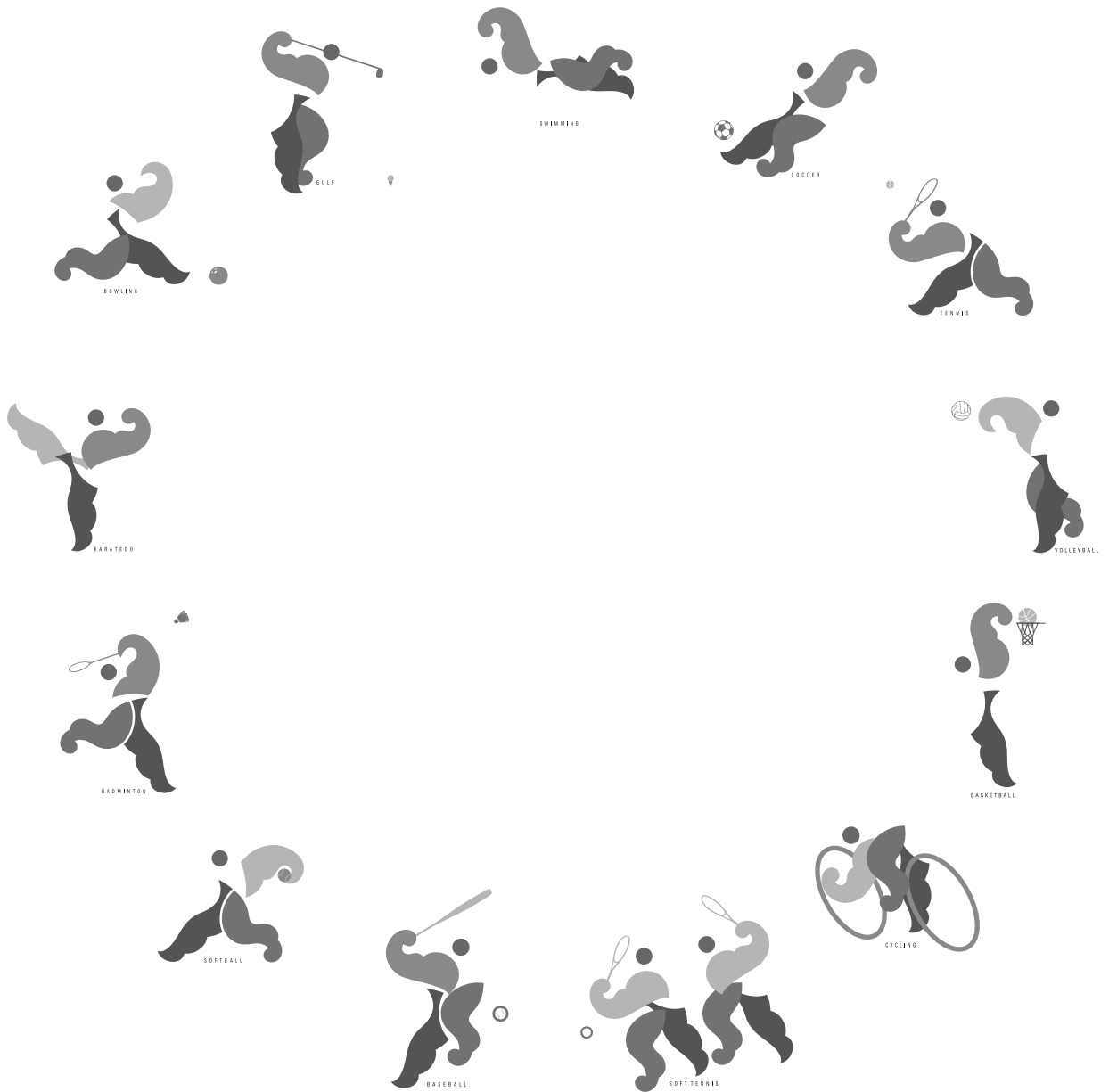
公益財団法人日本ソフトボール協会  
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 TEL.03-3481-2380  
岸記念体育会館4階 FAX.03-3481-2385

公益財団法人日本バドミントン協会  
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 TEL.03-3481-2382  
岸記念体育会館3階 FAX.03-3481-2456

公益財団法人全日本空手道連盟  
〒135-8538 江東区辰巳1-1-20 TEL.03-5534-1951  
日本空手道会館 FAX.03-5534-1952

公益財団法人全日本ボウリング協会  
〒108-0014 港区芝4-4-10 TEL.03-3452-4501  
サンライズ長井ビル8階 FAX.03-3452-4504

公益財団法人日本ゴルフ協会  
〒104-0031 中央区京橋1-12-5 TEL.03-3566-0003  
京橋 YS ビル2階 FAX.03-3566-0101



公益財団法人  
**日本スポーツ協会**